大正十年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十月三十日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇

灤州事件の全貌暴露さる

北平軍事分會が計畫的實施の確證

C・C團所屬爆炸團の行爲 證據物件悉く確保

灤州事件の犯人並に背後關係については其後當局に於て嚴重調査中のところ右犯人は○・○團爆炸團に屬し明に北平軍事分會の指導下にあること明白となり、本日午前十時半關東軍司令部では犯人並に背後關係について左の如く發表した

關東軍發表＝劉振才の供述を綜合するに灤州事件はC・C團に屬する北平爆炸團員の實施せる日本軍人および親日滿分子の暗殺行動にして、特に着目を要するは北平軍事分會が明かに爆炸團を指導しありし點とす、即ち本事件は南京政府の直系機關たる北平軍事分會が計畫的に實施せる抗日反滿工作の一工作と觀察すべく、明かに停戰協定及び北支協定に違反せるのみならず、北淸事變議定書の精神を蹂躪せるものにして、日本軍の斷じて默認し得ざる重大事件なりとす右證據の概要として犯人劉振才の供述を略述すれば

(イ)犯人劉は年廿二歳、盧龍縣劉各庄の出身にして本年四月婁志學、李玉林二名の紹介にて爆炸團に加入す

(ロ)爆炸團は團長を王緝楣と稱し、漢口○・○團に屬し該團は全國に九十數名の團員を散在せしめ各種暗殺行動に任じ、特に北平軍事分會の指導を受く

(ハ)今回灤州に關係せるものは張庭綱、婁志學、張江奸、霧德生、張鴻仟、邵玉林、丁福星、賓法山、蓋德林、王福祿及本人の十一名にして七月二十九日灤州に來り、錦盛棧、德順店の二旅舍に分宿し八月四日溫井少佐及び劉佐周の灤州到着を機とし日本軍人及親日滿分子の暗殺及治安の擾亂を企圖せるものなり

(ニ)本人は張、蓋と共に假裝小賣人となりて拳銃にて二發發射、更に手榴彈を投擲せるものにして逃亡の際携行せる手榴彈を過りて落下爆發せしため、足部に受傷し、八月五日朝、保安總隊に逮捕せらる

(ホ)使用せる手榴彈は明かに支那軍製造のものなり

右の如く本事件は北平軍事分會の指導の下に○・○團に依り決行せられたることは明かなりと云ふべし、尚本人の調書及び證據物件は我が方に於て確保せり

支那側の陰謀暴露

中央秘密指令文內容

【天津卅日發國通】灤州事件に對する中央の秘密指令文が暴露したが之によつてその目的が反日行爲なること明かで內容次の如し

(九月十日天津特別黨部秘密工作部發)

(前略)灤州、唐山間は風聲鶴唳少しの油斷も出來ず若し迂濶に行動せんか恐らくは直ちに日本側の注意を惹起すべし、況んや同志の傷痕なほ癒えざるに於てをや、益々あわてざるを得ず(中略)、現在の狀況に於ては捕へられたる同志は恐らくあくまでも秘密を堅持すること能はざるべく若し一切の秘密暴露せんか各方面の不便此上なかるべし、傳達には人ありと雖も然もなほ確信を得難し、これ日本側の警戒嚴重なる所以なり(後略)、北平軍事分會密書大至急秘密に○同志をして速に○○○、○○○の二人に命じ再び天津に至り日本側と日本製の彈藥小銃購買契約を行はしめられたし、右小銃は日本の國字或は番號の刻字あるものを最も可とす、之第三段の工作を施行するに當り之を遺棄或は遺失することにより灤州事件が國際間の問題となりたる際日本側の所有なりとする何よりの證據品となす事を得るを以てなり、この事は極めて秘密を要することなり、速かに購入ありたし價格の高きは問ふところに非ず、又手續購買方法等は以前の例に倣ふを好しとす

挑戰的秘密テロ行爲 斷乎排擊すべし

北支駐屯軍幕僚談

【天津卅日發國通】灤州事件解禁と同時に北支駐屯軍は左の幕僚談を發表した

灤州事件の重大性は只今發表の如く單に日支軍人の暗殺事件たるのみに非ずして寧ろ日本軍に對する挑戰的秘密テロ行爲たる點に存する換言せば本事件は實に南京政府が北支事件以來國民黨部、藍衣社及び憲兵隊三團の撤退等現はに北支協定の實行を宣傳し、日支親善を振りかざして陰に黨部藍衣社など各種秘密結社の擴充を圖り、實質に於ては北支事件以前に比し更に惡辣なる反日滿工作を實施してゐる、斯の如きは軍の默過し得ざるところにしてこの種秘密工作に北支をして全く不安なる暗黑下に導き、此間赤化の魔手の乘ずるところとなる事火を見るより明かにして北支民衆の爲、否東洋平和の爲斷乎として排擊せざるべからず

大村副總裁 けふ就任初の訓示

新任挨拶のため三十日午前七時來京した大村滿鐵副總裁はヤマトホテルに小憩後、同納涼園に在京社員を集め初訓示を行つたが、定員各箇所員約七百名參集、一同副總裁に向つて敬禮をなし滿鐵社歌合唱ののち、副總裁から一場の訓示があり、これに對して、各機關を代表して伊藤鐵道出張所長、社員會を代表して武田聯合會長それ〴〵答辭を述べ最後に伊藤所長の發聲で滿鐵會社、武田會長の發聲で大村副總裁の萬歲を三唱して九時三十分解散した

各機關歷訪

大村滿鐵副總裁は大和ホテルに小憩後、午前八時三十分から新京神社および忠靈塔に參拜し、九時十分から在京社員に訓示を行つてのち、關東軍關東局および憲兵司令部を訪問、正午一旦休憩して午後は駐滿海軍部、國務總理を歷訪三時から軍、滿鐵の懇談會に臨んだ

滿鐵幹部來京

滿鐵河本、郡山、佐々木、石本、佐藤各理事は關東軍との恒例懇談會に出席のため三十日午前八時五十分着急行列車で在京各箇所長その他多數社員の出迎裡に來京、一旦ヤマトホテルに休憩して後別行動をとり正午中銀クラブで晝食をとり午後三時から關東軍の懇談會に列席した、なほ一行は午後十時發列車で大連に歸任の豫定、松岡總裁も本日の懇談會に出席のため午後一時半着飛行機で來京した

滿洲開發會社 來月十日創立總會

＝資本金千五百萬圓＝

【東京國通】滿洲開發に關し拓務省を中心に關東軍、滿鐵對滿事務局で過般來協議中だつた日滿合辨の滿洲開發會社は愈々近く資本金千五百萬圓を以て創立に決定、來月十日創立總會を行ふが會社は主として滿洲移民を受扱ひ將來は組織を擴大するものである、資本金は滿洲國政府、滿鐵及び內地民間特殊會社が夫々出資する事となつた

明徵委員會の骨子決定

【東京國通】國體明徵新機關の設置に關し政府は軍部の要望により過般來具體案作成に努めて居たが廿九日閣議前首相官邸で首相、文相、陸海兩相と時に會合し協議の結果新設するに決定し首相より閣議に報告各閣僚の諒解を求めた新機關の骨子左の如し

一、新機關の名稱を教學刷新評議會とし文部省の管轄とす
一、單に憲法研究に限らず廣く國體の眞髓を窮め日本精神作興國體觀念の涵養に資せんことを期す
一、評議員は五十名乃至六十名とし學界及び軍部等に於ける國體研究の權威者を選んで之に任ず
一、新設經費は第二豫備金より三萬圓を支出する

于軍政相等今日出發

來る十一月九日より四日間に亘り鹿兒島、宮崎兩縣下に於て行はるる日本陸軍特別大演習陪觀の爲滿洲國より派遣さるる于軍政部大臣はじめ滿洲國武官六名は軍政部最高顧問佐々木少將等の案內の下に三十日午後二時新京發あじあで憧れの武の國日本へ出發したが、歸國は十一月十四日の豫定である

那須博士佳木斯へ

來京中の移民問題の權威東大教授那須皓博士は近く設立される滿洲移民會社に關し關東軍當局と協議打合せをなしてゐるが、近く第一次、第二次移民團の狀況視察のため佳木斯に向ふ筈である

海軍定期異動內命發せらる

濱田中將駐滿海軍部司令官に

【東京國通】海軍定期進級大異動は廿四、五、六日の進級會議で內定したので大角海相は廿八日午前十時御裁下を仰ぎ同日午後各長官、司令長官宛內命を發した、十一月十五日には正式發令を見る筈だが親補職並に之に伴ふ者は宮中の御都合上十二月二日發令される筈

横須賀鎭守府司令長官 海軍大將 末次信正
補軍事參議官
第二艦隊司令長官 海軍中將 米內光政
補横須賀鎭守府司令長官
軍令部次長 海軍中將 加藤隆義
補第二艦隊司令長官
軍令部出仕 海軍中將 島田繁太郎
補軍令部次長
海軍兵學校長 海軍中將 及川古志郎
補第三艦隊司令長官
第一潜水戰隊司令長官 海軍中將(新) 出光萬兵衛
補海軍兵學校長
海軍航空本部長 海軍中將 鹽澤幸一
補舞鶴要港部司令長官
軍令部出仕 海軍中將 山本五十六
補海軍航空本部長
海軍機關學校長 海軍中將 上田宗重
補海軍省軍需局長
海軍技術研究所 海軍少將 象田市郎
補海軍機關學校長
旅順要港部司令官 海軍中將(新) 濱田吉治郎
補駐滿海軍部司令官
第一航空戰隊司令官 海軍中將 和田秀穗
補旅順要港部司令官
海軍省教育局長 海軍中將(新) 豐田副武
補海軍省軍務局長
佐世保海軍工廠長 海軍少將 氏家長明
補海軍技術研究所長
艦政本部第二部長 海軍少將 菊野茂
補佐世保海軍工廠長
第八戰隊司令官 海軍少將 住山德太郎
補海軍省教育局長
吳鎭守府參謀長 海軍少將 谷本馬太郎
補第八戰隊司令官
軍令部第一部長 海軍中將(新) 中村龜三郎
補海軍大學校長
第六戰隊司令官 海軍中將(新) 原敬太郎
補第一戰隊司令官
海軍航空本部技術部長 海軍少將 佐藤三郎
補第一航空戰隊司令官
艦政本部第三部長 海軍少將 古市龍雄
補横須賀工廠長
第一戰隊司令官 海軍少將 日比野正治
補第十一戰隊司令官
海軍航海學校長 海軍少將 太田垣富三郎
補水路部長
佐世保警備戰隊司令官 海軍少將 和田專三
補馬公要港部司令官
第五戰隊司令官 海軍少將 下村正助
補第一潜水戰隊司令官
第二潜水戰隊司令官 海軍少將 野村直邦
補聯合艦隊參謀長
第二艦隊參謀長 海軍少將 三木太市
補第二水雷戰隊司令官
吳防備隊司令官 海軍少將(新) 大和田芳之介
補第二潜水戰隊司令官
山城艦長 海軍少將(新) 南雲忠一
補第一水雷戰隊司令官
陸奧艦長 海軍少將(新) 細萱戊子郎
補第五水雷戰隊司令官
吳鎭守府病院長 海軍々醫少將 田中朝三
補横須賀鎭守府病院長
佐世保鎭守府病院長 海軍々醫少將 菅原佐平
補吳鎭守府病院長
横須賀鎭守府經理部長 海軍主計少將 佐々木重藏
補海軍經理學校長
佐世保鎭守府經理部長 海軍主計少將 武井大助
補横須賀鎭守府經理部長
吳工廠會計部長 海軍主計少將 熊生榮
補佐世保海軍經理部長
吳造機部長 海軍造機少將 福間忠
補廣工廠長

中將進級者

【東京國通】近く發令される海軍定期異動に於ける中將進級者左の如し

海軍少將 河村儀一郎
同 豐田貞二郎
同 出光萬兵衛
同 山中政之
同 井上肇治
同 和波豐一
同 小野彌一
同 濱田吉治郎
同 豐田副武
同 中村龜三郎
同 山下兼滿
同 原敬太郎
任海軍中將(各通)

その日く

◇けふ教育勅語煥發記念日、この詔こそ萬世に範たるもの、緊張一番の秋
◇灤州事件の全貌暴露、この歷然たる確證、何をもつて辯解し得やうぞ
◇空中戰死の初犧牲、匪賊討伐中の犧牲だけに悲しみてなほ余りあり
◇一疊三圓の貸アパート生る、家賃高の新京に救ひの神惡家主征伐の一手段
◇家出した妻への面當に男根を切り、便所で縊死鼻持ちならぬ話

人事往來

▲カール・レイモン氏(罐詰商)二十九日午後來京國都ホテル
▲構橋稔氏(雜貨商)同
▲濱田正造氏(稅關吏)同
▲永積精氏(イリス商會)同
▲大島鴻三氏(アジア貿易會社)同
▲佐々木虎雄氏(輸入商)同
▲酒井龍男氏(大日本紡績社員)同
▲小寺源吾氏(大日本紡績常務取締役)同
▲靑木菊次郎氏(建築技師)同
▲草野松雄氏(副領事)同
▲澁谷照雄氏(警察官吏)同
▲橋部貞一氏(三菱會社員)同
▲松本慶三氏(メトロゴールドワインメーヤ映畫會社員)二十九日發大連へ
▲脇本博司氏(パラマント映畫會社員)同
▲草野末雄氏(吉林副領事)二十九日午前來京
▲池田長康男(貴族院議員)同日午後發ハルビンへ
▲濱本少將(新京警備司令官)同歸京
▲中西敏憲氏(滿鐵總務部長)ヤマトホテル
▲大村卓一氏(滿鐵副總裁)三十日朝來京ヤマトホテル
▲河本大作氏(滿鐵理事)三十日午前來京
▲郡山智氏(同)同
▲佐々木鎌一郎氏(同)同
▲佐藤應次郎氏(同)同
▲連組氏(滿洲國侍從武官)同ハルビンへ
▲宇佐美寬爾氏(鐵路總局長)三十日午後來京
▲中川健次郎氏(大連商業)二十九日午後來京ヤマトホテル
▲渡邊柳一郎氏(チ、ハル鐵路局文書課長)同
▲田中盛枝氏(滿鐵社員)同
▲中根直介氏(承德領事)同
▲吉家敬造氏(東京會社員)同
▲菅野精三氏(同)同
▲中村三郎氏(大連貿易商)同
▲横田忠文氏(大阪製藥會社員)二十九日午後來京名古屋ホテル
▲石本惠吉氏(東京鑛山業)同
▲小松次三郎氏(奉天土木建築業)同
▲樋口裕人氏(東京樋口商店員)同
▲染谷保藏氏(盛京時報社長本社代表者)三十日午前來京ヤマトホテル

女八人過渡時代 最後の切札八枚 (合作)

大林梅子

光りの彼方に 57 或る條件 (三)

大林梅子作

「俺の屋敷に寢泊りして、こゝから自動車で淺草にかよていつてはどうぢや？ 俺はあんたの藝に深い感動をあたへられてゐるのぢから、どんなにでも貴女に奉仕してよいと思つてゐる……貴女が毎日かよふために、俺の自動車を提供してもよいし、それがいやぢやといふなら一臺新型のを、買うて上げてもよい。そればかりぢやない貴女が、かうせいあゝせいと指圖するなら、俺はどんなことでもして上げるつもりぢや……だから、俺のいふとほり、貴女はこの屋敷に寢泊りしてはどうぢや」

それは、圓滑にチリーに對して妾になれといつてゐるに過ぎないのです。チリーにもその言葉の意味がよく分つたので、彼女は急にうなだれるやうにして、深く考へてゐる容子だつた。

やゝ暫らく、さうして考へてゐたチリーは顏を上げると何となくませた調子で、

「そりや、何の條件もなしに、此處に置いて下さると云ふのでしたら、居てもいゝと思ひますわ」

と、云つた。それは萬一かうした問題の出た時は、かう答へるやうにと此處へ來るときに香苗からあらかじめ敎へられてゐた言葉だつたのです――●

誰が世の中に、何の報酬も得ずに他人の女を己の屋敷に引取り、自動車の送り迎へまでしてやる馬鹿があるだらう？ 昨夜、チャリネの蹴球場で、泪つてもよいと云つたのも、じつは、そんな輕い言葉であつたのか？――總三は失望したが、こゝは一つ深く突込んでおかねばならないと思つて、

「チリーさん、俺は今後、あんたの保護者として、またパトロンとして將來はあんたを淺草はおろか、日本中に有名にしてやりたいと思うてゐるのぢやよ。かう云ふ事は何んぢやが、俺の今の金力を以てしたら、そんなことは何でもないことぢやと思うとる。しかし、俺としてさう云ふことをするには、普通の報酬以上のさうぢやな。熱が必要ではないかと思ふ。熱がなければ、それほど人々のために盡くことはできまいと思ふのぢやが、その熱情を、あんたによつて與へて貰ひたいのぢや」

すると、チリーは、俄におちないやうな眼つきをして、

「なんのことか、あたしにはよく分んないわ、どうしたらいゝの？」

と、いつた。

つまりチリイにはちやんと福田の心は讀めては居るが、何にが斷の如き馬鹿老人にと堅く心に締めている彼女の決心は敵は本能寺にありで寧ろチリイの目的は他にあるのであつた。

「一體あなたは先程から何んの用があつて俺をお呼びになつたのですか妾には少しもあなたの心持が少しも讀めませんわ」

福田は聊か氣がいら〱したがそこは老練な海千山千の彼、なるべく根強くジハ〱と彼れの心に接近しつゝあるのである。

「妾もう歸らしていたゞきますわなんだかちつともあなたのお話がわからず、いつまで居つても駄目ですわ」

と、彼は寧ろギヤクに彼の心根を突いてその急所をえぐるべく策謀したのである。これが十六の小娘とは思はれぬ彼の要領は巧に彼れを、自由自在に操つるのであつた。

「まあそんなに急がずともいゝぢやないか話は急にゆくものでもなく又俺のやうな老人になるとさう急がれては話の前後がつかぬのぢや、ゆつくりとお茶でも飲むことにしやうぢやないか」

と彼はニッコリ笑ひ頰ひした御

暴利家賃時代は去つた！
近代式で場所柄 疊一枚が三圓也
新京一の青陽ビル近く竣工
俄然家主界に大恐慌

疊一枚五圓六圓……の高家賃時代は去つた、最近特に著しくなつた家主對借家人の抗爭も新築家屋の竣工とともに漸次家賃は引下げられ、中には家主が自發的に一割二割の

値下 を行つてゐる向きも少くないがこゝに近く名實ともに國都第一のビルヂングとしてアパート界の王座を誇る青陽ビルヂングが疊一枚三圓也を標榜してデヴューすることになつたのは注目すべきで、早くも高家賃を貪つて來た家主達に大恐慌を捲起せしめてゐる

青陽ビルは現在東二條と祝町通の角に新築中のビルヂング界の最高峯で、鐵筋コンクリート五層建、その總建坪實に千二百余坪で、地下室は大浴場、グリル、遊戲場などの歡樂街、一階表は有名商店々舗九軒がずつと居並び、その裏は飲食店街として「おでん室」「しるこ屋」など五軒が賑かに祝町から滿鐵病院横に通り抜けることになつてゐる、二階は總べて貸事務所で醫院や會社などから早くも申込み殺到、この室數は十四室で三階以上は總アパート三階は二間以上二十三室、四階は二間または一間で七室、五階は一間で六室といふ豪盛な構成振りである附屬地目抜きのどこにゆくにも便利な場所柄でしかも唯一の鐵筋コンクリート建、各部屋とも近代的に至れり盡せりで殊に三階、四階、五階は居住者の健康第一を目ざしてそれ〴〵廣大な遊歩場の設けあり、夏季は納涼ホール又はルーフガーデンに、冬季は戸外運動場としてのスケート場にしやうといふ仕組で、しかもその家賃は一階の店舗街が一坪平均七圓、アパートは疊一枚三圓といふ値段である、十一月十日前後には足場が取拂はれ同月末には竣工の豫定だが、何にしても氣のきいた六疊一室が月額十八圓は近頃にない安値だといふので、申込所の東二條通一九片岡洋行では早くも各方面から申込殺到の

始末 で、經營者側ではこの際申込金などは一切取らず、その代り最も確實な信用ある人々に貸したいといふので、多數申込書を受付けてその中から公平に詮衡することになつてゐる

總工費三十萬圓で 十一月末竣工
經營者は籠谷保氏

なほ右新築に要した經費は三十萬圓で、現在の豫定では十一月末日には竣工する、經營者は前地方事務所渉外係長、現滿洲電業合資支店長籠谷保氏であるが、實際の經營は同氏に代つて總支配人格の東二條通一九片岡洋行主片岡孝明氏が專ら當ることになつてゐる、片岡氏は語る

實は工事も一生懸命で、しかも請負者の松浦組では犧牲的精神を以て當つて呉れたゝめ新京の建築界では見られぬ超スピードで進捗しつゝある現狀です、現在新京に於ける家賃は隨分高いことではあらうが、總建築費を僅か三年や四年で回收しやうといふのは誠に虫のよい話でそれでは借家人側の非難を受けるのも當然である、青陽ビルの目算としては總工費の凡そ半額に相當する借入金を支拂ふのにさへ八箇年を要する始末で、從つてその全部を家賃で取立てるにはなか〴〵末永いことではあるがしかし大きな慾さへ考へなければ成算は充分取つてゆける積りである、實は普通世間並みの家屋なればもつと安く上るはずだが、何分鐵筋ではあるし、それに設備その他出來るだけのことをしたいといふので比較的高くなつたが、家賃もこの位が無理のない至當なものと考へてゐる

街の日記

滿洲國軍事情 公開映畫會

軍政部軍事調査部では在京滿人男女小學校生徒に對し、滿洲國軍紹介の目的を以て、廿九日より引續き一週間軍事映畫を公開することゝなつた、場所は城內自彊街で毎日午後三時と五時の二回映寫し、一回三百名十四回に亘り約五千名を收容する筈で、映畫は漫畫、觀艦式、特別演習、日本事情等に關するものである

京白、白城兩線 開通披露宴

新京白城子間の京白線、白城子を基點として索倫との七千一粁の白溫線の鐵道工事竣工來る十一月一日から運輸營業を開始するに就き同日午後零時半新京ヤマトホテルで齊々哈爾鐵路局長周培炳、副局長酒井淸兵衛の兩氏來京披露宴を催す

金澤第一高女の 歡迎會開催

在新京金澤第一高等女學校卒業生では今度成田先生が新京に轉任された歡迎會を來る十一月一日正午大和通り益與樓で行ふ趣であるから出席希望者は電話三四五三に申込まれ度いとの事です

羅監察院長新築移轉

監察院長羅振玉氏は新京特別市大同公園前に一萬數千圓を以て純滿式家屋を新築中此程落成十一月二日移轉することとなつた

あす（卅一日）

△學生作文發表會（新京敎化聯盟主催）三十一日午後一時西廣場小學校講堂

△滿鐵消費組合總代補缺選擧 午前八時三十分から午後五時まで同組合事務所

…今晩の主なる放送番組…

▲七・〇〇浪花節忠孝兩全矢頭衛門七（大阪）京山小圓▲七・三〇チェロ獨奏神保陸敏ピアノ伴奏辻野敏子▲七・四五舞台劇（東京）

けふの銀相場

國幣對金票	100圓00錢
鈔票對金票	10六圓四0錢
國幣對鈔票	—
現大洋對鈔票	—

飛行隊最初の 空中戰死者出づ
熱河討匪軍出動の小川中尉

友邦の治安の確立を期して一齊に行はれた今次の冬期討匪行は向ふところ敵なく華々しい成果を擧げてゐるが去る二十七日の熱河討伐で陸軍最初の空中戰死者を出すに至つた—川岸本部隊の今次討伐に協力の爲派遣せられた飛行隊は連日の如く活動を續け熱河の山地を縱横に驅馳する劉振東、灤天林、小園王匪の心膽を寒からしめてゐるが去る二十七日正午小川中尉は北脇小尉の操縦する愛機に搭乘し先づ得意の機關銃射撃で匪賊隊を薙倒した後急降下爆彈投下に移つたこの爆撃は可成な匪賊に打撃を與へたが最後の爆彈が翼を離れた瞬間中尉は遂に敵彈に斃れた、陸軍に於ける空中戰死者としては中尉を以て嚆矢とすると云はれてゐる

小川中尉は山梨縣東山梨郡鎌宮村竹森の人、昭和八年陸軍士官學校卒業後下志津飛行學校教官となり八年八月渡滿したもので無線の大家として知られてゐた因に郷里には盛枝夫人との間に二女がある

赤字の教化聯盟へ 軍部からの應援
又もや三百圓の寄附申出に
武田委員長の感激

新京地方事務所武田所長、野村社會主事は廿九日午後三時關東軍司令部を訪問したところ、同司令部では武田所長を委員長とする新京敎化敎聯盟の最近の活動に深き關心をもち近く實施する明治節記念行事に對し金三百圓の寄附を申出で、高級副官越生大佐より武田所長へ直ちに手交するところあつたので、同所長は感激してこれを受理した、武田所長は語る

さきに軍司令官の名において金百圓を頂戴したが、今また司令部より新たに金三百圓の御寄附を受けた、思ふに國都の建設はまづ魂の建設より創むべきだ、魂のなき國都は砂上の樓閣である、軍部がわが敎化聯盟の事業に深き同情と共鳴を寄せられることは何よりも心强い次第である、日本の生命線である滿洲國の前途は萬々歳だ、われ等聯盟の同志は寄托に添ふべく一般の努力奮闘を誓ふものだ

なほ軍では今回のみに限らず毎年相當の金額を寄附すべく意嚮を洩らしてゐるとのことである

新京神社總代會

新京神社では三日午後三時から地方事務所長室で總代會を開き左記諸件を協議する

一、供進金徵收に關する件
一、補助金に關する件
一、その他の件

けふ十月三十日 教育勅語御下賜記念日
新京神社の捧讀式や母の會
精神作興に拍車

けふ、三十日は明治大帝が教育に關する勅語を賜つた記念日に當り沿線各初等學校ではこの記念日を中心に教育精神作興週間を設け教育者自身の反省を促すと同時に職員兒童一體になり御聖旨に副ひ奉らんことを期してゐるが在京各小學校ではこれを機會に學校と家庭との間に理解と協力を計る目的で卅日午前十時から學校別に「母の會」を催し聖旨を奉體して懇談をなした、まづ十時から一時間各學級の授業振りを參觀し十一時から講堂で勅語捧讀講話があり終つて懇談會を開き正午閉會した、なほ室町小學校では同懇談會では特に各家庭において兒童の實踐すべき事項として左の七事項を協議打合せをなした即ち

實踐事項

一、毎朝御先祖への禮拜を欠かさぬ樣にしませう
二、神社や忠靈塔の御前を通過する時には必ず敬意を表しませう
三、家庭における朝晩の挨拶はつとめて勵行しませう
四、食前食後の挨拶を實行しませう
五、金品は常に勿體ないと云ふ氣持にて使用しませう
六、祝祭日には必ず國旗を掲揚し宮城を遙拜しませう
七、新聞雜誌掲載の皇室に關する御寫眞及び記事は大切にいたしませう（寫眞は新京神社における捧讀會）

捧讀式

けふ、十月三十日教育に關する勅語御煥發記念日に新京初等各學校では全教職員百五十餘名新京神社に午前七時集合し勅語捧讀式を催した、まづ各自神社參詣し植村神職の修祓式、續いて上原室町校長が教育勅語及び教育者に賜りたる勅語を拜讀終つて同校長から「吾等教育者の覺悟」について二十分間に亘つて講話あり同三十分解散した

明治節記念展
三、四、五三日間圖書館で

新京圖書館では三日、四日、五日の三日間に亘つて明治節記念圖書、文獻展覽會を開催するので係員は出展品の蒐集に多忙を極めてゐるが大體今日位で全部揃つた、展覽會は

△三日午前十時から四時まで圖書並びに文獻展覽會
△四日、五日の兩日午前十時から午後四時まで兒童作品懸賞募集展覽會（作文、書方、圖書）
△七日午後七時から須佐氏を中心に座談會

大事な物を切り 便所で縊死
妻の家出に面當ての日本人

二十九日午後六時四十分ごろ國務院前三泰號の便所で內地人男が陰莖を切斷した末便所戸に皮帶を掛け縊死してゐるを同號使役滿人が發見し總領事館署に屆け出たので同署から係員が急行檢證を行つたところ本籍廣島縣佐伯郡五日市町一一四三新京軍用路西三六號大工木原粂次（四一）と判明した、原因は去る廿三日妻リヨ（三〇）と口喧嘩をなし妻は直に家出、行方不明となつたがその後自分も各地を轉々とし二十八日歸京し妻への面あてに自殺を遂げたものである、死體は檢證後知人に引渡した

自稱滿洲國官吏 詐欺を働く

自稱滿洲國文敎部社會敎育科勤務中元共郎（三二）は二十二日午後十一時豫て知り合ひの市內日本橋通五十五大同倶樂部に到り二十五日の給料日に支拂ふからと金二十圓を借り受け大同倶樂部では二十五日中元の許へ請求に行くと二十八日に來て呉れといふので再び二十八日に行つて見ると行方不明になつてゐるので始めて詐欺にかゝつたこと判明警察に屆け出た

東昌橋に 六人組强盜

二十九日午後九時頃新京特別市東昌橋街門牌十九號碇山組苦力頭姜連孟（五二）方にブローニング拳銃一挺とモーゼル拳銃二挺を携へた六人組の强盜が押し入り家人を脅迫して現金十圓、金腕輪一個、金耳飾一組、金指輪二個、着物六枚を强奪して逃走した屆出により長通路署では直ちに署員の非常召集を行ひ徹宵捜査した結果三十日午前八時頃主犯と目さる李某と外二名を平康里にて逮捕目下嚴重取調べ中であるが其他三名も今日中に逮捕される見込みである

開店一週年を迎へた銀麗へ行つてみた、例の「椿姫」をやつたイヴォンヌ・プランタンに似たセイ子がまだゐて（これもあそこへ來てからもう直ぐで一週年だそうだ）一寸あたりを睥してゐた、マスターを掴まへて「あんたなんかフイリッピンとのハーフだからさ…」などと仲々に辛辣なり▲ここに又バッカスから來たマリ子あり、だまつて微笑んで居つたです、この日外出してエヽ事があつたらしかつた

明日の天氣 北寄の風晴一時曇

日の出	午前六時十三分
日の入	午後四時三十二分
月の出	午前十時六分
月の入	午後六時四十五分
けふの氣溫 最高	九度八
最低	二度六

二千圓脅迫の 凄文句
丸仲運送店へ

二十九日午後八時頃市內富士町六丁目二番地丸仲運送店宛奉天新聞記者の名儀で『明日の朝までに金二千圓を新京中央郵便局まで持つて來い若し實行しない時は貴樣は明日の晩あたり新京署の留置場へ這入つてゐるだらう』といふ凄文句を並べた脅迫狀が舞ひ込んだがどうしたものか同店ではこれを警察に屆け出ず、密かに心當りを探してゐる模樣であるが或は過日解雇した運轉手の惡戲でないかと云はれてゐる、丸仲運送店では左の如く語つてゐる

大體私の方では見當がついてゐるので何も表沙汰にせずとも本人が、改悛すればそれでよいと思つて實は內密に探してゐます、金を目的のギャングの仕業とは思へませんほんの惡戲にやつたものと思つてゐます

映画と演藝

（新映畫紹介）あばれ行燈
—太秦發聲映畫—

一宿一飯の恩義から沼津の秋太郎は何の恨みもない藤太郎を手にかけた、死ぬ間際に藤太郎は、二十年來逢はぬ父親藤兵衛が堅氣になつて歸へるといふ便りを樂しみに許嫁まで決めて國許で待つてゐるその不憫な父親のために自分の死んだこと知らせずに、そして身替りとなつて歸へつてやつてくれと頼むのであつた

秋太郎、持前の氣性から、それなら暫く面倒を見てやらうと、藤太郎の身替りとなつて父親の許へ行く。

鍬をかついで、野良仕事をする秋太郎の姿が見られたが流石に秋太郎、許嫁お露のやさしさには惱まずにはゐられない。

土地の親分櫓の傳六はかねぐ～美しいお露に邪な戀をしかけてゐたが、秋太郎お露の結婚聞いた時にはおだやかならぬ感情を燃した、そうした折、藤太郎の兄弟分象五郎が傳六宅に草鞋をぬいで、藤太郎の死を告げ、式場に殴り込みをかけて來やうとした。

事こゝに到つては秋太郎、一生持つまいと誓つた刀に手をかけた、秋太郎の心は澄みきつてゐた、藤太郎の今はの頼みからとは言へ、被つてゐた假面の劫頭が、全てのを明るみに出すことによつて償はれやうとするのだ、しかも今彼の身を氣遣ふ人達がゐる、何んの怨恨も忘れた藤兵衛、お露、そして事情を知つた象五郎達の姿があるのだ！（新京キネマ近日上映）

原作　子母澤寛
脚色　小磯夏男
監督　渡邊邦男
撮影　町井春美

◇

—キャスト—
沼津の秋太郎…黒川彌太郎
美濃の藤太郎…林雅美
神田の象五郎…高崎健太郎
藤兵衛…山田好良
お露…花井蘭子
傳六…上田吉二郎

あこがれ

松竹蒲田　五所平之助の「左うちわ」に次ぐ作品で、塚本靖の原作、池田實三の脚色になるサウンド版である、主演者は高杉早苗、小林十九二、新人佐分利信等で、伊豆半島のひなびた或町のカフエーを背景に南方獨得の哀愁をねらつたものである、「吹けよ戀風」と共に五所の心境に多くの愉しみが期待出來やう（三十一日より長春座上映）スチールは右から出雲八重子、小林十九二、高杉早苗

長春座　寫眞替り
=あすから=

長春座三十一日よりの番組は「あこがれ」「幽靈の置手紙」に「モロッコ」を加へた和洋混合プロの編成である
△下加茂「幽靈の置手紙」多島泰三作品、伊藤武夫撮影 和田平助捕物帖第一話として小笠原章二郎を起用、これに飯塚敏子、大内弘等特異な顔振れを配した所に興味がある
△蒲田「あこがれ」別項紹介
△パラマウント「モロッコ」スタムバークの作品またはデイトリツヒの映畫として余りにも有名過ぎる、かつての感激を懷古するのもまた一興あらう

雜音

新京キネマの「殺人光線」を覗いてみたトーキーになつた連續映畫の興味は無聲時代のそれと大差ない、只、少し卷數が多過ぎた事は確かである、幾つも同じやうな奇蹟が同じ調子で盛られてゐるので感興を削ぐ事少しとしない、やつぱり少しづゝ續けて見た方が面白さうだ▲長春座の明月からのプロをみると、三つ共夫々特長のある作品が並んでゐる、「モロッコ」はともかくとして、「幽靈の置手紙」と「あこがれ」には興味以上の期待をもたせるものがある、インテリに迎へられるプロであらう▲藝術協會では、新京救化[illegible]の主宰下に來る三日明治の佳節をトして「明治の御代と乃木將軍」二幕七景を公會堂に上演する、今の所、地元たつた一つの劇團である、本格的なものは望めないとしても、その出來榮えを今後の進出に對して期待する

今日の演藝街

△長春座—三十日限り、林長二郎、伏見直江の「雪之丞變化」ジョー・E・ブラウンの「爆裂珍艦隊」川崎弘子の「麗人社交場」其他ニユース
△新京キネマ—三十日より三日間オンスロウ・ステヴンスの「殺人光線」第六篇より第十篇まで、夏川靜江、市川春代、中田弘二の「炬火（都會篇）」片岡千惠藏「足輕出世譚」

出生

▲萩原美成氏（梅ケ枝町三丁目八番地）次男克己さん二十五日出生

居住消息

▲大關英達氏（福島縣）羽衣町二丁目ル號へ
▲板垣驛彌氏（群馬縣）撫順から錦町三丁目錦ビル六十六號へ
▲須藤清五郎氏（宮城縣）同九十三號へ
▲岡本房明氏（奈良縣）大連から吉野町二丁目七番地へ
▲下村喜氏（高知縣）平安町二丁目六號ノ三へ

轉居

▲森哲郎氏羽衣町からハルビンへ
▲坂井育永氏住吉町から羽衣町二丁目二番地永田方へ
▲永田清一氏永樂町から羽衣町二丁目二番地へ
▲川邨留治氏永樂町から錦町二丁目第二錦ビル五十八號へ
▲鈴木濟太氏室町から和泉町白山寮へ
▲辻實氏大和通りから常盤町三丁目十三號ノ二へ

木曜　庚辰　友引　破　奎宿
十月三十一日
舊十月一五日

●一白の人　疲弊漸く加はらんとする日焦慮を戒むべし　丙と午と丁が吉
●二黒の人　進退程を守れば業績は漸次に進展すべき日　壬と子と癸が吉
●三碧の人　自ら興奮して思はぬ失策を生ずることあり　丙と庚と癸が吉
●四綠の人　內心思ふ所あれども言外に出し難き苦あり　丁と辛と癸が吉
●五黄の人　强情我慢は身を過つべし溫和を旨とし平安　申と辛と寅が吉
●六白の人　熱心の度を加ふれば難苦も打壞し得べき日　申と庚と辛が吉
●七赤の人　立遲るゝ時は最後まで勝を占むる事能はず　甲と乙と申が吉
●八白の人　幸福に見ゆれど實際は利得意の如くならず　申と辛と丑が吉
●九紫の人　添興の福祉は漸々に一家に加はり來る吉日　丙と申と癸が吉

下宿

設備　溫水煖房水洗式便所付
間取　大小各室
食事　朝晩二食付
下宿代　一ケ月三十五圓より
御風呂は朝から用意して居ります
西五馬路二三號地
大福旅館
電話二一一四三八番

看護婦、附添婦、家政婦
❖お需めに應じ急速派遣致します❖
新京看護婦會
新京室町三丁目七
電話六九七三番

あんま
東一条橋々詰
鍼灸
九州堂療院
電話六五〇九番

日本刀、各種軍刀、指揮刀、研磨、白鞘、柄捲、外裝工作全般、附屬品一般軍需警察用品、劍道具柔道衣
不銹拍車各種襷略綬、掛金具勳章掛
老舗
井上刀剣店
室町小學校前
電話三二〇三番
振替奉天一七〇四番

獵銃
十二番讓り受けたし
新京百貨店二階十七號室
須賀

安い木炭の店

山元より需用者へ直接品質の良い木炭を思ひ切安いお値段にてお願ひする事が出來ますから何卒御用命の程

特上小丸（八貫俵）二圓三十錢
上小丸（〃）一圓八十錢
中炭（〃）一圓四十錢
黒炭（〃）一圓五十錢

新京高砂町四丁目六
新興商會
電話六二六一番

自動車問題

初心者に運轉手免許試驗官心血の問題を一見氷解せしむ▲東京府田無町▲東京自動車學校出版部五百題五百頁送料共特價引二圓振替口座東京四七二番

待望の米国製品…ナイト受信機！新輸着
素晴らしい音量—
確實なる分離—
手頃の御値段—
三拍子揃へて
皆様の御試聽を御待ち致して居ります

Knight
七球オールウェーブ　二〇〇圓
六球全　一五〇圓
五球全　一〇〇圓
四球キャビネットケース付　六八圓

同達優秀品も各種取揃へて居ります

ナナオラ、ナショナル、テレビアン代理店
伊開商店　電氣店

日本一ノ　おたふくわた

人相手相鑑定
鑑定は早朝より夜間迄
大官方でも先着順に觀る
秘密は嚴守致します

神秘な運命を人相手相を骨子として心理と生遺傳と性格、體質と觀念から科學的に說く、不思議だ、ピツタリとアタル

森田英道
號鐵眼道人
入船町三丁目一番地
カフヱー銀麗隣り。やす家階上
電話六五三三六九〇〇番

美容美髮
御婚禮美粧は東京美容院へ
御來院出張共に敏速御便利本位
內弟子數名募集
大連吉野町
東京美容院
電話二・七五五七番

九月中に於ける新京經濟金融概況 (一)

―朝鮮銀行新京支店調査―

月初一日には京濱線のゲージ變更ありて大連より哈爾濱迄直通列車運轉せらるることとなり交通界に一大劃期を爲せり。從つて從來哈爾濱、大連間の貨客車中繼地たりし當地も今後は單なる通過地となるに至り、當地商工界にとりては輸出輸入に一抹の寂寥さを感ぜられつゝあり

月中特産物商内は伊エ關係の惡化、月末に於ける第二回全滿特産物收獲豫想高發表待望等に見送氣分濃厚にして、當地取引所に於ける先物商内僅かに混保大豆二〇三三車高粱三七車の出來高ありたるに過ぎず、之に反し綿糸布界は久しく買控への後なると伊エ關係による海外相場の急騰に商内活況を呈し月中出來高五五〇〇俵見當と目せられ、久し振りに相當の手合を見たり。麥粉は北滿粉撫順迄引合ふに至り爲めに當地市場は全く北滿粉の獨占市場となりたり。砂糖は久しく負控へ後とて商内賑ひ、土建材料は本年度土建界も最盛期を過ぎたることとて漸次閑散に向ひつゝあり。

錢鈔市況は伊エ關係の惡化に滿商筋の買進となり、中旬央頃迄は續騰の一途を辿り、鈔票對金票は月初一二六圓三〇錢より十七日一四二圓台突破と弈騰後漸落して月末には一三五圓九〇錢と下落せり。國幣對鈔票は鈔票の好勢に月初七九圓九〇錢と立會ひしが、逐日高騰に十七日には七〇圓八〇錢と本年度の新安値に崩落するに至れり、國幣對金票は九月三日以降滿洲中央銀行の對金圓パー維持策にパー相場を持續して越月せり。當地取引所に於ける月中先物出來高は鈔票對金票五、一七五千圓國幣對鈔票四、〇一九千圓國幣對金票出來不申なりき。

一般市況以上述の如くなりし爲金融市況も亦概して凡調に推移せしも一部大口資金の移動等ありて、組合銀行の月末殘高は前月に比し金國幣の兩勘定は預金減少貸出増加となり、鈔票勘定は預金貸出共に何れも減少し居れり。

一、特産物市況

月中新京驛に於ける發送數量を見れば次の如し。(單位噸)

品名	前月	本月	前年同月	對前年同月比較
混保大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	減[illegible]
普通大豆	[illegible]	[illegible]	—	増[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	減[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	増[illegible]
包米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	減[illegible]
蘇子	[illegible]	[illegible]	—	増[illegible]
麻子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	増[illegible]

當地取引所に於ける取引概況を見るに

△混保大豆 先物 月初二日には十一月限三圓一六錢と立會ひ、材料薄に頭重商狀を辿り保合に推移せしが、伊エ開戰氣構に鈔票硬化し、四日には十一月限三圓三錢五厘六日には三圓二錢と續落せり。七日に至り鈔票は尚も强調を續け鈔票の續騰は本品のヂリ安となり、十日には十一月限三圓六錢五厘と下落して三日續き休會に入れり。當市休會中の十三日には大連市場强調を呈せしため休會明十四日の當地市場は十一月限三圓二二錢と俄然昂騰せしも、他方鈔票も續騰を續け十七日には一四〇圓台突破の大暴騰となりたる爲、大豆も十一月限三圓一一錢と軟化したり、折柄内地にては伊エ關係惡化に株式市場賑ひ、生糸相場の昂騰等ありて大豆の思惑買も旺盛となり相場急反撥し十九日の休會明には三圓二七錢と一錢方上放れ、端境期にある大連埠頭在貨の減少は之に拍車をかけ逐日高値を追ひ二十日には三圓四〇錢と昂騰せり。後亞麻仁油の强調に豆油好感連れて大豆も十錢方昂騰し、引續き油房筋輸出筋の買進に上騰を續け二十六日には十一月限三圓四六錢と月中の最高値を出せり。二十八日正午には第二回全滿特産物收獲豫想高發表せられ前回に比し十七萬噸の減收を報ぜられしも市場には影響薄にて月末三圓四二錢を示して越月せり。月中出來高相場左の如し。

期限	出來高	最高	最低	平均
九月末日限	[illegible]車	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末日限	—	—	—	—
十一月末日限	一、九九二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末日限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	二、〇三三			

●高粱 先物 月初三日當限三圓三二錢と二〇錢方下放れて立會ひ、例年より早き新物の出廻りと新穀出廻後の安値豫想に民意弱氣なるに加へて鈔票の逐日高騰あり當限は五日三圓二八錢、十日三圓十五錢と崩れしが、十九日に至るや大豆の暴騰を眺めて三圓三〇錢と一〇錢方上放れ、在荷薄に尚も上伸同日三圓五〇錢二十日三圓六〇錢二十一日三圓六五錢と鰻上りの大暴騰を演ずるに至れり、後大豆の歛化に三圓四七錢と反落、二十五日に三圓五四錢と持直したるも、新穀出廻後の相場不透明に買控へられ、商内亦當限に限られ、月中を通じて商内薄に終始したり

期限	出來高	最高	最低	平均
		圓	圓	圓
九月末日限	三七車	三、六五	三、一五	三、三五

重要物産現物出來高左の如し(相場は石鈔票建)

品名	出來高	最高	最低	平均
		圓	圓	圓
大豆	[illegible]車	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]車	[illegible]	[illegible]	[illegible]
米高粱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
包米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
粟	—	—	—	—
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]			

受渡不能見越し

取引所關係者參集協議

【大連國通】高粱十月限喰合ひ高は百二十八車に上つてゐるが在貨は百車を越へず賣方が現物を準備してゐるのは三井があるだけで邦商筋の五十車を筆頭とする賣方の殆ど總ては現物の手持ちなく買方主力の日清廿一車、三菱四十三車は現物を引取る意向と見られる、商内停頓に陷つてより一週間を經受渡期日を卅一日に控へ受渡不能となるは火を見るよりも明かなので午前十時から取引所會議室に關係取引人を始め取引所長等二十餘名參集協議する處あつた、會議の内容につき仄聞する處に依れば高粱取引所には問は入れて居ないに拘らず大豆その他を眺めてあひがないが受渡までにはなほ一日を餘してゐるから成可く立會を介して目前商内をなし期日迄に自前終らず受渡し不能の向きに對しては受渡しを猶豫し現物を是非受取らんとする向へは賣方提供の現物を按分比例にして受渡しを濟ませ樣といふに大體意見一致したが具體的方法には及ばなかつたものの如くである

(19)

後に奉山鐵道となつたところの、かの關外鐵道は、英國資本の借款によつて建設されたものであつた。露國による東清鐵道とこれと、この滿洲を縱横旅する近代的な交通機關の敷設こそが、直接的には滿洲を支那本土そして列國に結びつけ、滿洲の經濟的開發を急速度に進展させ、それによつて滿洲經濟を世界經濟に結びつけたところの物質的基礎となつたものであつた。東清鐵道の正式開通は、シベリア幹線を通じて西歐との交通路を開かしめ、又ウスリー線を通じて浦鹽港との關係を結ばせたし、關外線は山海關に於いて關内線を結び、以て支那本土との陸上交通を容易にしたのであつた。

清朝の所謂封禁政策 だが漢族は滿洲へ

在來滿洲經濟の樣相解明

×　×

われらはこゝに暫らく、滿洲古來の、つまり、在來の滿洲經濟の本質的樣相を解明することに努めよう。

順治元年(西暦一六四四年)清朝第三代の世祖が北京に遷都し中原に君臨するに當つて當時の滿洲民族は人口僅かに百萬内外であつて、壯丁は僅かに二十萬でしかなかつた。このやうな小民族を以て、清朝はその數百倍にも當る漢民族を支配しなければならなかつたのだが、そのためには滿洲民族を支那本部に移住させ壯丁二十萬は滿洲八旗として首都その他主要都市に分駐し以て漢民族の叛亂に備へるといふ策を取つたのであつた。なほまた、清朝は滿洲を祖宗發祥の故地として尊崇し且つ中原の統治に失敗した場合の根據地として保存するために、漢人種の滿洲移住を嚴禁したのであつた。これが所謂封禁政策である。

しかし、支那本土に於ける平和の日に、その人口は增加し、北支では災禍起り、本土の流民は漸次滿洲に侵入した

私設鐵道法の實施に就て

―交通部當局談―

既報の如く私設鐵道法の實施は來る十一月一日と決定したが右につき交通部では左の如く語る

各般産業の開發に資する爲九月五日勅令第百九號を以て公布せられた私設鐵道法は同法施行に必要なる手續法及附屬法令を鋭意審議中の處今般其の制定を完了したので十一月一日より實施することとなつた

本法と施行規則其の他との關係は大體別項(略)の通りなるが其の他建設、運轉信號、保安及係員の職制等の規定を夫々制定し企業者の依るべき規準を示し鐵道運輸の安全を期することとした

一方鑛石、木材等の自家用貨物の輸送用に供する專用鐵道規定を制定し各般産業の進展に適合せしむることとなつてゐる

又右私設鐵道法中には道路に敷設する鐵道所謂軌道を包括制定された關係上之が實施に伴ひ其の營業に關しては鐵道營業法を全般的に適用することを得ざる規定を存するので交通部大臣の指定する鐵道は鐵道營業法中の數條を適用せざることに改正し別に規定を設け之に依らしむることとなつてゐる、現在右指定の鐵道は奉天、ハルビンの二市營電車にして之は佈告を以て指定せられてゐる

圖們稅關 羅津辨公處設置

財政部は去る五月二十二日新京に於て外交部大臣と滿洲國駐劄日本帝國特命全權大使との間に署名調印せられたる圖們江國境を通過する列車直通運輸及稅關手續簡捷に關する協定に基き來る十一月一日より本國稅關官吏を羅津に派し稅關の事務を取扱ふが事務所の名稱及位置左の通りに決定した

滿洲國圖們稅關羅津辨公處 朝鮮咸鏡北道慶興郡羅津邑

日銀週報 【東京國通】

項目	金額
發行兌換券	[illegible]
正貨準備	[illegible]
保證内譯公債	[illegible]
政府證券	[illegible]
證券	[illegible]
手形	[illegible]

土建ニュース

決定工事

●需用處營繕科 ▲山海關合同廳舍附屬自動車庫新築工事

(一回) 四、六〇〇、〇〇 碇山組 四、八五〇、〇〇 伊賀原組

(二回) 四、三〇〇、〇〇 碇山組 四、三五〇、〇〇 伊賀原組

上記工事再入札せしも落成を見ず碇山組と示談交渉せしも不成立なりしため伊賀原と隨意契約す 契約金國幣四千三百圓

●國道建設處 ▲伊通盤石間木造暗渠新築工事

一七、四三〇、〇〇 多田工務所 一七、一六八、〇〇 京城阿川組 一六、八〇〇、〇〇 志岐土木 一六、五〇〇、〇〇 鐵道工業 落札一萬六千六百三十圓 大同組

●中央銀行 ▲吉林河南街支行廳舍改築工事

六、三四〇、〇〇 福昌公司 七、〇〇〇、〇〇 吉川組 一〇、八〇〇、〇〇 戸田組 落札五千一百圓 高岡組

▲遼陽支行廳舍新築工事

三一、〇〇〇、〇〇 大倉組 三三、〇〇〇、〇〇 清水組 三三、〇〇〇、〇〇 大林組 落札二萬八千九百圓 高岡組

●國道哈爾賓建設處 ▲牡丹江東北間國道築造工事落札六萬九千八百三十圓 藤本茂組

六六、四〇〇、〇〇 清水組 六六、四〇〇、〇〇 吉川組 六〇、三二〇、〇〇 志岐土木 六三、六〇〇、〇〇 榊谷組

●國都建設局 ▲興仁大路地下水道鐵管布設工事 入札期日十月三十日

▲牡丹公園内溫床築造工事 入札期日十月三十日

最近刊行された滿鐵經濟調査會編纂の「一九三五年版滿洲經濟年報」の凡例を讀んで行きかかつて、筆者は胸をひき締められるやうな思ひがした、曰く「滿洲經濟社會の科學的研究は(中略)殊に今日のやうに、滔々たる阿世の辯が公然と行はれてゐる時代には、その必要は尚ほ更ら痛感せらるゝ」と。▲微力非才ではあれ筆者とても職として筆陣を張るものゝ一人であるそしてジャーナリズムの世界に居りつゝも、經濟關係の問題に於いて科學的研究といふ目標を瞬時といへども忘れた事はない積りだ、問題は眞の學問的論議が公然と行はれ難いといふ「今日の時代」にある、誰れが好んで世におもねるの辯を吐こうぞ、しかしながら、むろん、若干の阿世の辯は世の中に橫行してゐるわれらはそれに唾を吐きかけるだけである▼「たたかひは筆陣に又ありにけり」

商況欄 (十月三十日前場)

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二九片一六分五
同先限	二九片〇〇〇
紐育銀塊	六五仙八分三
孟買銀塊	六六留比二分一
米英爲替	四弗九仙四分三
米日爲替	二八弗七六仙
米支爲替	三二弗七五仙
スチール	四七弗四分一
アナゴンダ	二一弗八分三
英日爲替	一志二片[illegible]分三
英支爲替	[illegible]
英佛爲替	一四弗四分一
印日爲替	七七留比八分五

▲米棉 現物 一一仙三五

▲印棉

限月	相場
十二月限	一〇仙九六
一月限	一〇仙八四
三月限	一〇仙八八
五月限	一〇仙九一
七月限	一〇仙九一
十月限	一〇仙七六
ブローチ	一二三留比
オームラ	一九五留比
ベンゴール	一四九留比

▲市俄古小麥

限月	相場
十二月限	九七仙八分七
一月限	九七仙八分七
三月限	八六仙八分三

▲カルカッタ麻袋 寄筋 二五留比〇〇〇

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣買 [illegible] 第二回 賣買 [illegible] ▲倫敦向 第一回 賣買 一志三片[illegible] 第二回 賣買 一志三片[illegible] 第三回 賣買 一志三片[illegible] ▲紐育向 第一回 賣買 三二弗[illegible] 第二回 賣買 三二弗[illegible] 第三回 賣買 三二弗[illegible]

▲大連爲替 ▲上海向 [illegible] ▲臺灣向 [illegible]

▲阪神米日爲替 第一回 賣買 二八弗[illegible]

▲阪神日英爲替 第一回 賣買 一志二片[illegible]

株式相場

▲大阪株式(短期) 寄 引 大新 [illegible] 鐘新 [illegible] 東新 [illegible] 日産 [illegible]

▲大連株式(短期) [illegible]

金銀市況

鎊筋 二二留比一六分五

●上海標金 昨引 本寄 歩 [illegible]

●大連金鈔票 現物 寄付 引 出來高 十二月十三日限 寄付 歩 十一月廿八日限 [illegible] 出來不申

●大連鈔票銀大洋 現物 出來高 引 [illegible] 不申

●奉天國幣金票 現物 ▲十一月廿八日限 寄 引 出來高 [illegible] 不申

●奉天國幣鈔票 現物 ▲十一月廿八日限 寄 引 出來高 [illegible] 出來不申

●哈爾濱國幣金票 現物 ▲十二月十三日限 本寄 引 出來高 [illegible] 出來不申

●安東國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 十二月十三日限 本寄 引 出來高 出來不申 十二月廿八日限 一〇〇、〇〇 出來不申

奉天株式(短期)

寄 引 五品 新 [illegible] 豆新 鈔新 [illegible] 錢新 鐵新 [illegible] 東新 [illegible] 滿新 [illegible] 二新 産 [illegible] 日新 [illegible] 鐘新 [illegible] 滿取 大新 東新 日産 五品 豆新 鐘新 滿鐵 二新 電甲 同乙 [illegible]

商品市況

東拓 滿興 優亞 東先 滿毛 日魯 [illegible]

▲大阪棉糸 寄 付 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

▲大阪期米 當限 中限 先限 [illegible]

特産市況

●哈爾濱大豆 十二月限 一月限 出來高 [illegible]

●同小麥 十二月限 一月限 出來高 [illegible]

▲神戸豆粕 十月限 十二月限 一月限 二月限 出來高 [illegible]

新京取引所市況 (十月三十日前場)

●大豆 現物(一石値段) 定期(混合百片値段) 寄 引 出來高 [illegible]

高粱 現物 [illegible]

●鈔票對金票 十三日限 二十八日限 寄 引 出來高 [illegible]

●國幣對鈔票 十三日限 二十八日限 寄 引 出來高 [illegible]

現大洋對鈔票 國幣對鈔票 鈔票對金票 國幣對金票 [illegible]

誰が殺したか (上映禁止)

國枝史郎氏作 龍造寺瞻畫

第二の殺人 一二三 (八三)

野屋は、われを忘れて走り出した、いきなり、背後から、兩手でしつかり——と、つかまへた。

つかまへられた男は、

「どうぞ、うつちやツておいて下さい！どうぞ、たのみます！」

とひくい聲でいふのであつた。

「どうして、見殺しにできるもんかい！」

「いや、僕はもう、生きてゐてもなんにもならないものです！放して下さい！放して下さい！」

また、必死となつて身をもがきながら、ひくゝ叫んだ。

「俺だつて實は、死に度くなつてゐる處だが、人間の死ぬ處だけは默つて見ちやアゐられねえ！」

「死にたくなつたら、いつそ死らしく見えた。

それでも、野屋は、立はだかるやうにして、自分の體でさへぎりながら、兩手をゆるめた。

「どうしてまア、あんたは、死ぬ氣になつたんです。あんたのやうな立派なひとが、どうして死ぬ氣になつたんです。へ、ア、判つた、女にでも捨てられたんですかい？」

その男は苦笑した。

「君だつて、さつき、死にたくなつたといつたが、死にたい男が死にたい男をたすけるなんて、けしからんぢやないか」

「しかしねえ、おれの死にていツていふのは、女どころの問題ぢやねえんですよ」

「さうかね、ところが、僕の絶望といふのは、君たちに話をしたところで、理解はされないだらう

ぬのが當然です僕を！生かしておかケッていふのは、僕を殺すよりざんこくです！」

「ざんこくかなんか知らねえがおれはこの手は放されねえ！」

「たすけると思つてはなしてください！」

「おれは、人情で、見殺しができねえんだ！」

「そんな人情なんか、僕には、必要ないことです！なんて君はわからないだらうなア」

「あなたこそ、なんだつてまアこんなわからないまねをするんです。」

「放してくれッ！放せッ！」

しかし、いくらその男がもがいても、勞働者あがりの、野屋の方が强かつたので、どうやら、川ぶちから二間ばかり、ひきもどしてしまつた。

その男は、心からなさけなさゝうに言つた。

「君のやうな、腕力の强い奴にかかツちやアかなはない！」

男は、どうやら、…つた

とにかく、女に捨てられたなんてそんなことぢやないよ！」

「さうですかねえ、見たところおれたちとちがて、服が喰ひなくなつたッてわけぢやなからうしなア」

「さうだ、貧乏だからといふわけでもないのだ」

「成程ね、死ぬにも、いろんな譯ツてものがあるもんですね」

「それはさうだよ、どうだね、かうなつたら、君も僕を死なせはしまいから、ひとつ、どこかそこらで、いつぱい飲みながら、話をしてみようぢやないか？」

「それはようがすな」

二人はそこで、道路の方へ歩き出した。

「ところで、あんたは、なんといふおかたです？」

「僕か、僕はね、峰山正常っていふんだよ」

「えッ！峰山伯爵の？」

「さうだ！」

野屋は[illegible]してしまつた。

(この[illegible])

大正九年十一月二十四日 第三種郵便物認可

昭和十年十月三十一日 (木曜日) 第四千五百八十一號 (一)

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話{編輯部專用三三二五 營業部專用三三〇〇}
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水館內之介

日滿通貨統制への具体的方策討議

鮮銀、中銀の兩代表會合して 近く重要協議開く

【東京國通】日滿通貨統制の根本方針は既報の如く決定したので大藏省の命を受けた朝鮮銀行では近く滿洲國中央銀行代表者と東京で重要協議を行ひ日滿通貨統制に關する兩行協力の具體的方策を決定する事となつた、而して協議の眼目は

一、今後國幣流通强化のため鮮銀券を滿洲國中央銀行に持入んで國幣の無利子貸出を受けるについては中央銀行は鮮銀に對し常にその要求に應じてパーを以て右國幣を金票と引替ふべき事

一、中央銀行の手持金票を總て鮮銀に預金すべき事

等である、尙中央銀行代表には山成副總裁又は鷲尾理事が當るべく豫想される

統制具体化に伴ふ 日本側銀行の態度

滿洲國法人への轉身傾向現る

日滿通貨統制の具體化に伴ひ在滿洲の日本側諸銀行の統制問題が表面化し中央銀行による買收或は滿洲國の內國銀行に轉身等各種の說を生んでゐるが、財政部にも中銀にも現在のところ正式の話もなく、具體的に何等進展を見てゐないが當地各方面では大要左の如き見解を持し、將來に於ける問題の發展性を表明してゐる

一、財政部に於る國內銀行の整備は着々進行しその內容は强化され一方中國側諸銀行も滿洲國に於る金融統制に服しつゝある折柄、日本側諸銀行が滿洲國法人となり、中央銀行の統制下にあることになれば滿洲國金融統制の實は此處に完全なものとなる

一、日本側諸銀行としても滿洲國の發展につれ奧地進出の要あり、その爲には滿洲國法人に轉身して自由に營業した方が有利であり且つ治外法權撤廢を目前に控へて此必要は痛感される

一、滿洲國內の通貨が國幣一本の方針に決すれば鮮銀の滿洲に於る勢力は當然弱まるべく從來鮮銀を親銀行としてゐた日本側諸銀行も滿洲國法人となるときは中央銀行のフワイナンスを受けることゝなり、現在よりも順調に營業を進めることが出來る

一、難點と見られてゐるのは日本側諸行の營業範圍の大半は關東州內であり、滿洲國法人となれば日本側から外國銀行として取扱はれ相當の不便を感ずるが、州內の營業は現在飽和點に達したと云ふべく、將來は寧ろ奧地に發展性を見出すべきである

以上の如く日本側諸銀行の滿洲國法人への轉身は滿洲國側としても銀行自身としても當然性が豫想されその具體化も時日の問題と見られるに至つた

大演習陪觀へ

大演習陪觀の于軍政部大臣一行は三十日午後二時發あじあにて出發した

澄宮殿下御成年式 十二月二日に擧げさせらる

【東京國通】皇后陛下の御慶事は十二月中旬の御豫定の由に承るが之に先立ち十二月二日には澄宮殿下が目出度く御成年式を上げさせ給ふので皇室の重なる御喜びに宮內省ではたゞ／＼御喜び申上げて居る、澄宮殿下には十二月二日の御誕辰に賢所御前に於て嚴かな御成年式を擧げさせられ 天皇 皇后 皇太后三陛下に朝見の晴の御儀を行はせられるが 天皇陛下には殿下の宮家創立に對し特に宮號を賜ひ御成年を壽せられて各皇族方を始め岡田首相以下各國務大臣前官禮遇等の重臣其他顯官宮內官等を宮中豐明殿に召され御成年御披露の御盛宴を催されて御陪食仰せ付られ更に廣き範圍に亘り拜賀、賜餐の御沙汰あらせられる、尙澄宮殿下には多分明春四月頃士官學校生徒の御資格で滿鮮の御視察旅行を遊ばされる御豫定と承はる

大連鈔票市況惡化 百圓パーに肉迫

=追證四百圓を增徵=

【大連國通】二十九日日滿通貨統制の報を入れ急落した鈔票市場は三十日朝も上海標金高に刺戟され、卅日大引相場に比し一圓卅錢方下放れて百六圓七十五錢と極めて軟調に寄付きてより後反動狙ひの買物と賣屋の利喰買で一時百七圓七十錢まで反撥したが引續き上海標金の續奔騰映じ市況一段と惡化し各方面からの賣物殺到し、安値百二圓五十錢まで陷落愈々百圓パーに肉迫するに至つた、此の間取引所當局に於ては市場の混亂を防ぐ爲、證據金四百圓を增徵し一萬圓につき一千圓とした尙出來高も一千百萬圓以上の多額に上つた

大連鈔票 後場反撥す

【大連國通】前場百圓パーに肉迫した鈔票市場は後場上海市場の休場で材料の入電なき儘落着くかと見られたが鈔票の漸落は未解決の大豆受渡し問題を益々困難ならしむるとの見解より特產方面より正金銀行に對しコントロール方を要望せりとのデマ飛び前場安値賣込のまばら筋の總引に猛然と反撥し高値十圓二十錢まで引戻し九圓三十錢で大引けた、氣配落ちつかず目先混沌

英佛軍事相互援助へ 共同作戰案成立す

地中海上に於ける全面的協力

【パリー廿九日發國通】去る十八日地中海の共同作戰に就きフランス政府が回答を提出して以來英佛兩國政府は侵略行動に對する相互援助案に就き外交的折衝を續けて來たが愈々兩國間の軍事的相互援助協定案が事實上成立を見るに至つた、協定案の骨子左の如し

一、フランス政府は制裁案の發動に就き事前に通告を受ける場合何時にても相互援助の義務を履行する

一、地中海上で英伊兩國海軍が衝突する場合、フランス政府は即時自國の海軍力並に海上施設を援用して英國海軍と全面的協力を圖る

一、現在の情勢に於て英國政府が地中海より艦艇を撤收する場合にはフランス政府は自國の海軍力を動かして英國海軍力に代位せしめる、且つ地中海上の海軍根據地を英國海軍の使用に提供する

英地中海軍減勢か

【ロンドン廿九日發國通】地中海に於ける共同戰線案につきフランス政府との間に諒解成立の結果英國政府は愈々地中海上の海軍力減勢を斷行するに決定したと傳へられる

エ國の數州を 伊國統治に

【パリー廿九日發國通】イギリス政府特使トーマス卿は廿九日ラヴアル首相と會見し新和協案に關し協議したものと解されるが右に關しパリー・ソワール紙は左の如く報道して居る

英佛合作にかゝる新和協案はイタリーにエチオピアの數州の統治を許しイタリーはハラール及び北方高原(アクスムを除く)をエチオピア皇帝の直屬下に置くと規定してある

總局會計を公開して 資金繰難を突破

財界の對滿鐵不安解消へ

【大連國通】社債發行限度の擴張に要する資金繰の方針を決定した滿鐵は明年の定時株主總會に於て定款の改正を行ひ之が實現を計る事となつたが、一方滿鐵社債の消化力を培養するため十一年度以降五ヶ年間株式配當年八步を維持し得る確信あることを發表し別に次の如き方法によつて滿鐵に對してかけられてゐる財界不安を解消し資金繰の難關を突破する事となつた

一、鐵路總局の會計公開

二、社內事業費は極度に節約し營業利益金の增大を計ると共に國策的特別事業資金は社債株金に依つて支辨す

三、新線建設及び北支投資は大體輪廓を明示し資金需要の限度を內示す

大樣以上の如き方法に依つて滿鐵は今後五ヶ年間の資金需用の限度を明かにすると共に總局の會計を年度別に示して逐年增收を記錄しつゝある營業收入と諸支出のバランスを公開し、五ヶ年間八步配當を維持するの困難ならざる點を計數的に示して財界の不安を解消する方針である

滿鐵事業費豫算

―近く整理の上認可申請―

【大連國通】滿鐵明年度事業費豫算は整理の上近く政府に認可の申請を爲す事となつたが經理部擔當佐々木理事は十一月十日頃新京に赴き豫算書に就て詳細說明、次いで十一月下旬又は十二月上旬上京、對滿事務局に同樣說明を爲す豫定である

松岡總裁就任最初の 第一次聯席會議

滿鐵の今後と北支問題に關し 關東軍、滿鐵懇談會

關東軍、滿鐵首腦部の第一次聯席會議は三十日午後三時から約六時間余に亘り軍司令官官邸で、關東軍側南司令官、西尾、板垣正副參謀長、田中交通監督部長、永津第三課長第三課および第一課幕僚、滿鐵側松岡、大村正副總裁、河本・佐々木、佐藤、郡山、宇佐美、石本各理事中西總務部長並に武部關東局司政部長、谷守屋大使館兩參事官等出席の下に行はれた、會議は今後の諸般の事業計畫並に北支への經濟的進出を主とし並にその他の諸問題にも亘つて討議をつゞけた

多くを語らぬ

一足先に歸連の石本理事談

東京に赴くために早く退出した石本理事は驛頭に於て往訪の記者に語る

今日の集りは第一回の懇談であつたが、議題は專ら滿鐵の財政に關すること〻、北支に對する滿鐵の經濟的進出に關する問題が討議された、何しろ午後三時から始まつて七時半に終る豫定であつたが、食事をとり乍ら未だ話を續けてゐる狀態で、僕だけ逸早く退出して此の汽車(午後八時發)で大連に歸り、直ちに東京へ向ふことになつてゐる

記者が北支の狀勢はどうですかと訊くと

色々なことが起つてゐる、唯僕は經濟專門だから其方面許りを一生懸命にやつて居る

と微笑して多くを語らず出發した

孫財政相 安東通過北上

【安東國通】約一ヶ月に亘り經濟使節として日本訪問の使命を果した孫財政部大臣一行十一名は三十日午前十一時ヒカリで安東通過、五龍背に向つたが孫財政部大臣は訪日感想を左の如く語る

今回の訪日は實に二十六年振りで日本に行くまでの認識と實際に見た日本と大分違ふことを發見した、此の二十六年間における日本の發展は確かに驚異すべきものがある東京では大藏大臣始め軍部大臣に御會ひしたが非常に厚遇されその他京都大阪等各地で歡迎を受けたことは感謝に堪へぬ

尙ほ大臣は五龍背で三泊、長途の疲れを休めて歸京の筈

出廻り增加豫想で

哈大豆受渡懸念解消

【ハルビン國通】ハルビン交易所の大豆當限受渡不能懸念濃厚化に就ては既報の如くであるが其の後松花江に依る大豆出廻り增のため前途樂觀されるに至つた、即ち松花江は昨年十一月六日終航であつたが今年は十一月十日見當と見られしかも例年に比して著しく增水した爲め終航までに二千二十五車の出廻りが豫想されて既に運航中のもの及び配船濟のもの六百車に及んで居る、此の內半數を大豆とするも一千車見當が受渡しに供し得らるる譯で、一方當限殘玉も出廻り增を反映して買方の手仕舞さへあつて漸減し二十五日の殘玉五百七十一車が二十九日には四百二十一車となり受渡し不能懸念は全く一掃されると共に十數年振りの大豆拂底も緩和を見るに至つた

大連の現豆受渡

―廿九日までの分を完了―

【大連國通】建成興、同興昌及び一般の廿九日期日の現物大豆受渡しは信託會社にて代行し廿九日正午過ぎより始めて午後五時に至り完了した、受渡し高は合計六百十一車に上つたが內三百二十六車が本證券、二百八十五車が假證券であつた、而して三十日以後の一般の受渡しは取引人各自の間に於て行ふ譯である、さしも揉んだ現豆の受渡しも廿九日までの分は無事に終り取引人及び組合、信託、取引所側關係者一同安堵の胸を撫で下した、尙特別委員會は午後三時半より開催され受渡し事務の報告を受け四時散會、卅日は午前九時より開催して諸般の重要問題に就き協議する筈である

高粱現物受渡 無事完了

【大連國通】現物大豆受渡し不能問題に絡み高粱の受渡しに就ても懸念されてゐたがこれは二十九日取引所當局の斡旋により取引人組合の申合せとして受渡し不安一掃の爲當限高粱の受渡し期日を一日繰上げ三十日午前中とし當限空建玉は三圓八十錢にて手仕舞ひ又は十一月限に三圓三十錢にて乘替へさせることゝなり後場の取引を行つた、而して當限は百十八車十一月限九十三車、計二百十一車の手合せがあり、當限は十車の喰合ひを殘すのみとなつた、尙當限には三圓七十五錢の相場あれどこれは三井買、三菱賣五車の解合ひ商內であつて廿九日までに解合ひの豫定であつたもので取引所でも此商內を認めて記帳した、斯くして懸念されてゐた高粱受渡しは事無きを得るに至つた

出淵大使歸國

【下關三十日發國通】日濠親善の重大使命を果した出淵大使は三十日朝七時基隆より門司寄港の瑞穗丸で三ヶ月振りに歸國した

電々外信課長 本社へ來訪

滿洲電信電話株式會社外信課長市橋良治氏は三十日新京移住挨拶に來社

疊一板三圓也のアパートが現れたといつて別に驚くに當らないが、それが新京では立派なニュースになるんだから、吾々借家人に取つては余りに有難なさ過ぎる▼祝町と東二條の角といへば新京では誂へ向きの場所柄、それに古びた支那家屋を申譯的に改造したボロ家屋とはワケが違ふ、鐵筋の堂々たるもの▼それで立派に採算がとれるといふから、實際新京の家主は余りにも暴利過ぎてゐる、この際何とか考へて貰はなくちやなるまい▼第一總工費を僅か二年三年で取り返さうといふ量見が惡い、このせち辛い世の中にそんなボロな商賣があるものか▼家屋には土地がつきものであり、この土地の値上りを勘定に入れると、二重三重の儲けが當然家主さんの懷を溫めるわけだ▼間に合せのボロ家屋に至つては尙更ひどい、中にはこんな家に人間が住めるのは不思議とさへ思へる、しかも家賃は世間なみと來てゐるから全くどうかと思ふ▼それがたとひ疊一枚二圓三圓でも決して安くはない寧ろ健康第一を思へばそんなボロ家屋は宜しく倉庫にでも還元すべきものだ

社説　満洲に於ける通貨問題　從來の國幣の本質考察

一

満洲國に於ける通貨の問題に關しては種々の理由によつて、未だ充分に自由な論議を行ふべき時が來てゐないが事實上、人々の現在の關心は集中的にそこに向けられてゐる筆者はこゝに、何ら將來への豫想などを試みることなく、專ら過去の事實を回顧し國幣の本質をあきらかにし、それによつて現在の問題を正しく理解するための助けにしたいと考へるものである。

二

昭和七年（大同元年）満洲中央銀行が創立されて、張家二代及びその他の軍閥時代に發行された多くの紙幣を整理する事となつた。それら舊紙幣はそれ〲一定の換算率により中央銀行の新紙幣と引換ふる事とし、本年六月末までの前後三ヶ年間に從來流通總額の九割七分一厘を回收するといふ豫想外の好成績をあげることが出來たのであつた。之とともに、滿洲國當局は馬大洋票、熱河票、過爐銀、鎭平銀、各種私帖及び小洋錢等の整理を斷行し、併せて海關兩及び金單位制度の廢止國內諸取引の國幣建實行、現大洋又はこれに類似する通貨建の取引禁止等を行つた、これによつて滿洲國內に於ける通貨は最近に於いてはほゞ國幣を以て一元化さるゝに至つたのである、そして今日、關東州及び滿鐵附屬地を含む滿洲の通貨は國幣、鈔票及び金票の三者對立といふ狀態になつてゐる。このほか、關東州內には小洋錢が流通してゐるがその用途は限られて居りやがてはその影を消すことかと考へられる。

三

國幣は滿洲國の貨幣法より見れば、銀系通貨である。昨年九月迄は國內に於いて國幣はほゞ現大洋と等價を維持して來た、それは、發券銀行たる中央銀行が、國幣の價値を現大洋に聯繫するために新京總行及び奉天分行に於てベーでの現大洋賣り、國幣買ひと金票及び鈔票の賣買を行ひ、それによつて國幣の銀に對する價値を維持して來たものだと言はれてゐる。滿洲國は建國早々二千萬圓の鮮銀借款、三千萬圓の建國公債合計五千萬圓を日本より借入るゝことによつて幣制を確立したのであるから、流動資金の大部分は金票を以て占められ、從つて國幣價値の操作も主として金票によらざるを得なかつたであらうことは容易に考へ得らるゝところである昨年の十一月頃から國幣の價値は現大洋より乖離するに至つた。それは主として上海金融市場動搖の影響を受け、上海大洋、鈔票、現大洋この三者の相互價値が不安定に陷つたのに基づくこと大である。滿洲國は今や國幣に關して新しい操作をすべき情勢となつた。

日本の商法に基き　新商人通例制定　明年公布される模樣

滿洲國に於いては、從來中華民國三年公布の商人通例を暫く從前の法令を援用するの件の教令により襲用し來つたが右の通例では特殊なる滿洲國特にその今後の經濟的情勢に對し必ずしも適合しない點等もあり、かねて司法部より參事官を日本に派遣し我が國商法の權威にして滿洲國に對し顧問の地位にある松本烝治氏田中耕太郎氏の指導を受け研究を重ねしめてゐた所、角村氏最近歸滿しいよ〱わが國の商法に當る新しい滿洲國の商人通例が制定され來年中には公布を見るに至ることと見られ注目されてゐる

各國との通商懸案解決に　外務省の方針決まる

【東京國通】外務省通商局では既定方針に從ひ各國との通商調整に努力を拂つてゐるが愈々本年掉尾の馬力をかける事とし左記諸國との通商懸案を一擧に解決する手筈を整へた

一、日濠通商條約締結交渉　オーストラリアとの通商交渉は本年二月開始されたのみでオーストラリア代表ガレット條約大臣が渡英した後は目覺ましい進展もなかつたがガレット大臣も愈々十二月二日歸國する事となつたので我村井總領事との間に正式に交渉が進行する事となつた

一、日加通商交渉　新內閣を組織したキング首相に對して加藤公使は廿六日日加通商懸案解決を要望し新首相の善處考慮の確約を得た自由黨內閣の新政策により日加通商問題が協議されるのも當面の事であらう

一、日埃會商　日埃會商は卅日より愈々具體的問題の討議に入る事となつたが笠間、天城兩代表はエヂプト側代表に對し爲替、補償稅の撤回を求め、國內產業保護の目的と稱されるが實際上何が現行日埃通商暫定取決め廢棄の結果に至らしめたかにつきエヂプト側の態度を打診する豫定である

一、日蘭會商　休會中の日蘭會商は日蘭海運會商の成立を機會に再開される事となり、日蘭通商條約の締結を俟つて日蘭兩國の通商關係維持、進展に努力する事となつてゐる

特別大演習への郵便物差出し方

今秋の南九州地方陸軍特別大演習に對し郵便及電報は特別取扱をなすことになつたが、大體の要領は參加部隊宛の通常郵便物は（小包郵便を除く）表面右上肩に（一）「大演習地配達」と表示すること（二）日取は大體廿五、六日頃から（三）電報は部隊名の前に「大演習地」と冠記すること等である

學生航空選手權大會　關西勝利

【大阪國通】日本學生航空選手權大會は廿八日城東練兵場で行はれた、學生と雖も二、三等飛行士免狀を持つだけに群がる觀衆の膽を冷す飛行振りを見せ各種競技に好記錄を出したが關東對關西の飛行リレーは遂に本年も關西側の勝利となつた

故逍遙博士の銅像除幕式

【東京國通】長谷川英作氏の手で製作中だつた故坪內逍遙博士の銅像はこの程完成し廿八日午前十時から思ひ出深い歌舞伎座中庭で盛大な除幕式を行つた、尙歌舞伎座では銅像建設を記念し十一月の顏見世興行に博士の名作「桐一葉」「孤城落月」「お夏狂亂」等を上演し三階には博士の遺物展覽會を開催する

衞生係員等　ペスト發生地視察

特產出廻り期に際しペスト發生地方面から新京への入荷が續々增加しつゝあるので新京滿鐵保健所新京署衞生係ではペスト豫防對策上現地視察をなすべく保健所主任羽生博士新京署衞生係門田主任らの一行は三十一日出發約一週間の豫定でペスト發生各地を視察することゝなつた

赤十字功勞者に　銀杯等を贈らる　新京支部關係の分

昭和六年滿洲事變勃發以來日本赤十字社救護事業は各職員の熱心なる盡力の結果萬事好都合に終了し今回本社から關係勤勞者の行賞が行はれ新京支部でも左の關係者にそれ〲贈與金品が送付され二十八日日本人達に傳達された、

一、銀杯特一號元幹事國原時三郎氏
一、木杯元ハルビン病院長羽衣町四丁目山口淸治氏
一、帶止長春分會評議員入島通石崎春江氏
一、同　日本橋通三十七番地濱田靜子氏
一、同　領事館官舍原田癸代子氏
一、同　八島通八番地武波芳子氏
一、同　三笠町三丁目赤木常磐氏
一、同　吉野町一丁目島名アイ氏
一、銀杯特二號元靜岡支部副長、民政部總務司長淸水良策氏
一、金七十圓元福井支部長、國務院總務廳次長大達茂雄氏
一、銀杯特二號元秋田支部長關東局司政部長武部六藏氏
一、帶止元愛媛支部長、文教部總務司長久米成夫氏
一、同　元秋田支部會長武部歌子氏
一、同　元和歌山支部會長淸水道子氏
一、同　元愛媛支部會長久米靜子氏

國防婦人會　節約獻金　精神作興週間

國防婦人會新京支部では來る十一月七日より十三日の一週間に亙り行はれる精神作興週間を迎へて國民精神作興の御詔書の精神を奉體し特に十一月十日を克己日と定め各自身分に應じ節約により得たるその餘財を分會毎に取纏め新京の防空費に獻金し國都新京の空の護りに精神的偉力を添へることとなつた

組合銀行でも　百圓寄附

なほ同日新京組合銀行からも新京銀行梅津專務を通じ新京敎化聯盟へ金百圓の寄附を申出でた

新京の防空獻金　十萬圓を突破

滿洲防空協會新京支部への市民の防空獻金は陸續と殺到し旣に豫定額二十五萬圓の中、現在十萬圓を突破し、廿八日現在の獻金累計は十萬七千五百三十六圓四錢となつてゐる未發表の二十五日から二十七日までの受附は左の如くである

▲五〇〇西野倉造、▲一〇〇〇久保田サユ、▲三〇〇野口德之助、▲一〇〇〇川野淸二、▲三〇〇〇岸本朝次郎（以上附屬地）▲三八二邊洪澤、▲三八二馮雲生▲一三六李換文、▲一六二八黃福祥、▲三五六趙順和、▲四九四〇王國鈞▲八六馮堯同、▲一九〇〇莫甲生▲二〇二林開原、▲二三二陳錦森、▲一八八馬盛發▲一三六石雲廷、▲一八八丁秀、▲三〇四陳璧、▲二貫、▲一一〇劉興諒、▲二〇二惠子義、▲九一〇栗福民▲二〇二郭樹台、▲一〇五六潘子喬、▲三五六劉菁波、▲四六四袁文彬、▲一六二八李淸林、▲九五八四賈潤田、▲二四六八張振聲▲八一二蕭刑山、▲三三七四馮樹臣、▲三八二郭鳳義、▲四〇〇八陳樹儀、▲七六八李讓亭、▲二〇二劉善堂、▲二〇二李耕田、▲一三六二趙刑漢、▲七六八以山、▲二〇二苗潤順、▲四六四王鑄九、▲五三一〇張子元、▲四六四李福德▲六三二金寶昌、▲二四六八黃吉令、▲二〇二李雲升▲七六八九江春、▲四六四震海春、▲二四六八寶慶雨▲七六八王玉峰、▲五四六劉震香、▲三〇四東月如、▲七六八張雍民、▲六六八六龍銀樓、▲一六二八左子香、▲四六五二李逢寅、▲六六八六李慶五、▲六三二海記、▲五四六順升隆、▲七六八寄生像館、▲四六四呂廷華、▲一六二八楊鳳賓▲一九〇〇李顯文、▲七六八劉漢斌、▲一九〇〇宋鳳閣、▲一三六馬凌雲一三六王玉峰、▲四二王榮昌、▲一〇四田承傑、▲四二尙玉亭、▲四六四王壽亭、▲一六〇宛哲賢、▲二三二白玉階、▲二一八〇王正岔、▲四〇〇六張宗山、▲六〇劉慶昌、▲二八四任萬忠、▲二三二修世濤、▲九一〇張振明、▲一七三二四秦慶芝▲五三一〇王相卿、▲四六四採國華、▲三八二呂濱陽▲六三二趙治元、▲三八二于魁群、▲二七六〇劉雲階▲一〇〇〇〇丸美洋行平尾美明（以上特別市及び居留民會）

商況欄（十月三十日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　二七四、八〇　水曜日

●大連金鈔票　寄付 一〇四、五〇　引 一〇九、五〇?　高 一一〇、五〇　安 一〇四、五〇　出來高 一一〇萬

▲十一月十三日限　十一月二十八日限
寄付 一〇四、〇　出　引 [illegible]　不　來

●大連鈔票銀大洋　現物　一〇〇、〇〇 [illegible]

●大連鈔票銀大洋　現物 ‖　寄付 ▲十一月十三日限 一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇　出來不申

爲替相場

▲日本向　第一回 賣買 一〇九、〇〇　第二回 賣買 一〇九、五〇 ‖

▲倫敦向　第一回 買賣 一六分五 / 八分三　第二回 賣買 ‖

▲紐育向　第一回 賣買 ‖　三弗　第二回 賣買 二分一 / 八分三 ‖

▲上海爲替　第一回 第二回

大連爲替

▲上海向　一〇四、五〇　一〇三、三〇　四、九〇〇　四、八〇〇　五、〇〇〇　三、八〇〇

▲煙台向　一〇六、〇〇〇　六、二〇〇　五、三〇〇　四、五〇〇

株式相場

大連株式（短期）	寄	引
五品	一六、五〇	—
豆新	三三、五〇	—
錢鈔	一六、六〇	—
東新	一六三、〇〇	一六三、四〇
鐘新	一四一、二〇	—
滿鐵	一〇七、五〇	—
二新	三三、七〇	—
日産	八〇、〇〇	—

奉天株式（短期）	寄	引
滿取	一七、三〇	一七、一〇
東新	一六三、五〇	一六三、四〇
鐘新	一四一、〇〇	—
日新	八一、一〇	八〇、二〇
大新	九七、四〇	九七、三〇
五品	一七、〇〇	一六、五〇
豆新	三三、七〇	[illegible]

各地市況

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
鐘新	一六三、五〇	一六三、四〇
日産	一四一、〇〇	—
大新	八一、一〇	八〇、二〇
五品	九七、四〇	九七、三〇
豆新	一七、〇〇	一六、五〇
電甲	三三、七〇	—
同乙	一六、九〇	一六、八〇
滿鐵	—	—
東拓	六、六〇	六、七〇
東亞	一五、三〇	一五、三〇
日書	一〇、七〇	一〇、六〇
滿興	五八、〇〇	五七、六〇
二毛	三五、五〇	三五、四〇
滿新	一七、五〇	一七、四〇
優先	二五、八〇	二五、八〇
優先	一八、〇〇	一八、〇〇

●横濱生糸　後場引　當限 九七七、〇〇　九七五、〇〇　先限 九五三、〇〇　九五一、〇〇

●哈爾濱大豆　十一月限 —　十二月限 九、八〇〇　一月限 九、七五〇　出來高 —

●同小麥　十二月限 一、四二〇　一月限 一、四三五　出來高 —

●神戸豆粕　十月限 四、四〇　四、二〇　十一月限 四、二〇　四、二〇　十二月限 四、〇四　四、〇四　一月限 四、〇六　四、〇四　二月限 四、〇六　四、〇六

新京取引所市況（十月三十日後場）

現物（一石値段）定期（混合百斤値段）寄　引

大豆　先物 —　九月限 —　十月限 —　十一月限 四、四〇　四、四〇 七車　十二月限 四、三〇　四、三〇 七車　一月限 —

高粱　十月限 —　十一月限 —　十二月限 —　一月限 —

九月限　鈔票對金票　二十八日限 —

十三日限　寄 一〇四、三〇　引 一〇四、一〇　出來高 十四萬四千

十三日限　國幣對鈔票　二十八日限

寄 —　引 —　出來高 四萬四千

手形交換（三十日）

金票 三三六枚 二〇八、七五三円七八

鈔票 二五枚 四、四三九円九〇

國幣 四四枚 二三、九九六円六〇

鮮魚小賣相場

百匁ニ付（三十日）

品名	最高	最低
活タイ	一、六六	八二
氷タイ	…	…
チヌタイ	…	…
アマタイ	二四	二三
中小タイ	九六	七六
カツオ	…	…
ブリ	二三	…
ヒラス	六四	五四
サワラ	三二	二四
サバ	二八	二四
アジ	二九	一二
カレイ	一三	…
ヒラメ	三〇	一〇
ボラ	三六	二三
コチ	…	…
コノシロ	三二	二三
キス	四八	…
イワシ	…	…
マナ鰹	三七	…
タチウオ	…	…
トビウオ	…	…
ムツ	…	…
サヨリ	…	…
カナ頭	…	…
ホーボー	一六	二八
タコ	三〇	…
甲イカ	…	…
水イカ	六一	六〇
イセエビ	八四	四二
車エビ	七二	四二
アナゴ	…	…
カイ柱	…	…
ナマコ	二八	二〇
アワビ	九六	…
カキ	三〇	一五
シヂミ	八	…
カマボコ一本	七三	二二
チクワ一本	五	三
マグロ切身	二〇	…
ニベ同	三二	三〇
ブリ同	三八	…
サワラ同	六五	四八
ヒラメ同	…	…

討匪從軍行(七)
徳林匪の所在 杳として摑めず

匪團と人參の話

山間の罌粟畑には必ず匪賊ありとは滿洲の常識とされてゐる、今春の罌粟栽培期に討伐軍のため罌粟畑を押へられた匪賊は多餉りの準備金を失つて非常に狼狽した、由來罌粟栽培が不作の年は匪賊の暴れ方が多い、今年も罌粟畑を押へられた匪賊としては多く出稼ぎを目指すこと例年の如くである、此處に山を出た匪賊を討つ皇軍の待機は當つた、農作物が收穫されて以來頻りに最後の暴虐を振ひつつ多餉りの準備を急いでゐるのである

ところが五常楡樹縣下に一族郎黨を率ゐて暴君ネロの如き慘虐振りを發揮しつゝある徳林匪千餘は末期的匪團の身もだへの中に依然として相變らず暴威を振つてゐる、徳林匪は宗徳林が總元締で巷間喧傳されてゐる王徳林はその弟その他二、三名の一族が各々徳林の

呼稱

を有してゐる、之等徳林匪は罌粟畑より材木業者と楡樹縣下の富豪が目當である、同時に彼奴等は自分の地盤農民をして朝鮮人參の栽培をやらしてゐる、これは部下の鮮匪が教へたものと見へ人參畑を作りはじめてより約五年を經過し漸く朝鮮人參の價値が出て來たところである

彼奴は自分の私腹を肥やす爲に新作物を起したのだ、そうして徳林匪の勢力は益々增大した、匪賊の搾取に遭ひ乍らも新作物を得て土民は徳林樣々とまつり上げてゐるらしい、無智な

農民

にとつては太陽を蔽ふてノシかゝつてゐる徳林以外眞の王者が他に居ます事も判らぬのだ、當初討伐軍の乘込みを徳林王國への反逆者と考へたのも詮ないことではあつた、しかし皇軍の態度、日滿軍警の治安工作により次第に王道の光の射すところを發見して來つつあることは確かだ、元來土民の國家觀念は誠に歪められたものである、徳林への執着もたゞ權力者への奉仕に過ぎない、徳林は匪賊なりと理解づけられた曉土民は王道治下に安きを希ふ事勿論である、今後

皇軍

の徳林匪撃滅と相俟つて行政當局の指導よろしきを得れば王道の光は燦然とこの地に照り映へるであらう、ましてや人參が王道の光によつて生長する時其處には畑に集つて王道謳歌の聲が年々彌高くなることも架空の想ではあるまい、然るに目指す徳林匪の所在は杳として摑めない、情報は五常縣、楡樹縣、舒蘭縣と頻りに徳林匪の出現を報ずるがその實體を突止むるに至らず皇威に怖れて地下にくゞつたか兎に角今季討伐中には彼の匪團も赤字を以て消される運命に至る事に何んの懸念もない

(宮崎國通特派員發)

南滿

滿鐵社員會の精神作興運動
=十一月一日より三日間=

【大連支社發】滿鐵社員會に於ては來る十一月一日より三日間滿鐵精神作興運動を擧行することになつた、昨年十月十五日より一週間に亘つて擧行された精神作興週間の著しき効果を擧げ得た實績に鑑み本年も之を擧行することになつたもので第一日は新に建設された殉職社員記念碑前で精神作興の宣誓式を行ひ引續きこの日晝間滿鐵行進曲により新たに制定された社員會體操を發表全社員之に參加する筈である、第二日は各地聯合會が各主體となり作興運動に即した、座談會等を催すことになつてゐる。第三日は十一月三日明治節に相當し體育記念日でもするので滿倶球場に於て精神作興運動報告式を終了引續き在連社員のマスゲーム各種運動競技が行はれることになつてゐる

東邊道匪團の末路既に近し
明春の治安期して待つべし

【安東國通】三角地帶東邊道に亘る徹底的討伐と平行して行はれてゐる宣撫工作は非常な好成績をあげ安東縣下の歸順匪三十七名を筆頭に各縣に於て續々として歸順申出でがあるが二十四日匪首靠山以下八名、中央好以下六名、北國以下三名、平益以下三名の計二十名が何れも銃器携行通山關〇隊本部に出頭、歸順の意を表したが一方飽くまで抵抗を續け逃げ廻る匪團も既に追ひつめられて袋の中の鼠の如き有樣で其の末路は全く時期の問題とされて明春の東邊道三角地帶の治安の確立は實に期して待つべきものがある

張總理巡視 十一月十五日 安東着

【安東國通】總理大臣張景惠氏は安東地方初度巡視の爲め十一月十五日安東着、省一般行政視察を行ふ筈

熱河省內警備電話 着々架設を急ぐ

【承德國通】熱河省治安維持會で豫て計畫中であつた省內警備電話架設に就ては縣當局も再三要請する所あつたが此程民政部警務司より首藤囑託の派遣を見たので豫算六萬一千圓を以て承德を中心とする省內幹線縱貫橫斷線を年內に完成すべく着々其架設を急ぎつつあるが該警備電話の設置に依つて情報蒐集、治安確保の上に一層の強化を來す事となつた、右主要幹線は

承德—淩源線、承德—興隆線、承德—古北口線、承德—多倫線、圍場—赤峰線、古北口—小白旗線、喜峰口—寬城線、喜峰口—灤河線、喜峰口—龍井關線

商店使用の荷車收容所設置計畫

【大連支社發】賑れ行く大連の惱みである市內商店使用の荷車は從來收容個處なく各自店前の車道或は歩道に放置されてゐたが之では交通上支障あるのみでなく街路の美觀をも損すると云ふので今般寺兒溝福昌華工附近の官有地約千坪を借受け車輛主有志により荷車收容所設置計畫が進められてゐるが完成の曉は街頭から荷車の姿を消すもので各方面に期待されてゐる

金塊密輸團 新義州署に逮捕

【安東國通】新義州署では本月初旬より平安北道、平安南道、黃海道の三道にかけて金塊の大密輸團あるを探知し刑事を動員して捜査中であつたが長谷川司法主任は去る廿六日夜刑事と共に平壤に向ひ首領某を逮捕、同人の自白によりこの密輸團は一味二十餘名より成りその內半數は若い女で巧に監視の目を晦し既に十三萬圓の金塊を密輸せる事實が判明、目下一味連累者を續々檢擧中である

松花江上流の資源豐富

尙今次の行程中松花江上流富爾河(樺甸縣大　子附近)一帶には河眞珠を產し更に強力劑として知られてゐる蛤蟆油元蘑茸(茸の種)石炭、金、銀等の資源が豐富なる事判明將來は木材の伐採と共に此種事業も有望視されるであらう

鐵路總局舍 今日上棟式擧行

【奉天國通】奉天日吉町守備隊跡に新築中の鐵路總局々舍は目下福昌公司の手により着々工事進捗中であるが來る卅一日の吉日をトし工事現場に於て各方面の名士を招待盛大なる上棟式を擧行することゝなつた

安東署で警察犬を利用

【安東國通】安東署では今回大連警察犬訓練所より優秀なるセパート五頭の分讓を受け來る二十八九日頃大連より當地に來るが直ちに警察犬班を組織し警備、犯罪掃蕩に使用の筈である

森洋行　蓄音器 レコード　中央通　電二八七〇　鈴紹加盟店

東滿

宛ら山猿の如く垢にまみれて努力
吉林縣下治安工作着々成る

(吉林國通)去る十四日より約十日間に亘り額穆、敦化、樺甸縣方面に於る特別治安工作狀況視察に赴いた河內警務廳長の齎らした情報によると皇軍の肅淸工作は實に淚ぐましい迄の努力が續けられて居り、敦化南方大蒲柴河附近工作中の各部隊は補給困難なる爲め一本の煙草を四五人での み又出動以來一度も入浴せざる爲め山猿の如く垢にまみれ乍ら工作に懸命の努力を捧げ村民より絕大なる信賴と感謝を受けてゐる

匪賊の歸順相踵ぐ

【吉林國通】日滿軍警の討匪工作に併行して協和會の標榜する思想對戰は會員の獻身的努力により着々實效を收め協和會磐石辨事處に於ては既に廿名の歸順者を數へてゐるが最近匪首四省の部下三名、同占中洋の部下三名、東邊好の部下二名、馬旅の部下一名、陳副官の部下三名外一名計十三名も夫々自己の所業の誤れるを覺り歸順を申出た、協和會當局もかかる自發的歸順こそ最も望ましきものとし工作班を總動員して活動を續けてゐる

趙民政廳長 地方巡視に

【吉林支局發】日滿軍警の徹底的討匪工作に呼應し過般各機關要員の特別治安工作に從事せる外、李省長、中野總務廳長等も前後して地方巡視を行つたが、今回又趙民政廳長は廿八日三上督察官、小川協和會事務長を帶同し約十日間の豫定にて楡樹縣に向つて出發したが、張教育廳長も吉林警務科長、田中映書班を隨へて二十九日德惠縣下に赴いたが是亦往復十日間の豫定である

特別農業移民團 ハルビン着

【ハルビン國通】去る廿五日東京を出發した東京府第二回特別農業移民團四十五名は敦賀、淸津、拉法を經て廿九日午後二時ハルバンに到着した一行は王兆屯の國民高等學校で半歲の農業訓練を經てそれぞれ移民地に配屬の筈である

農民の便宜を計り 京吉バス增發
一日より四往復・停留所增設

【吉林國通】新京、吉林間の所謂京吉バスは現在三往復となつてゐるが今日迄の狀態を見ると中途乘客が總數の九十パーセントを占めてゐる狀態であり、且つ結氷期を目前にして農民の旅行シーズンとなつてゐる爲鐵路局に於ては來る十一月一日より之を四往復となし從來の所要時間三時間を四時間に延長、更に途中停留所として左の十三ケ所を常設途中乘降客の利便を圖る事となつた

拉々屯、石碑嶺、胡家橋、大將家屯加信子、朱家屯、双橋子、西二道嶺子、長橋子、五里橋子、東二道嶺子、東通氣溝、高師前

明治の佳節をトし 武道大會開催
吉林鄉軍の主催で

【吉林支局發】來る十一月三日の明治節は在鄉軍人會創立記念日に相當するので、當地の分會にては四日午前九時より民會樓上に於て記念式を擧行される引續き午後零時半より民會橫運動場にて分會主催の下に武道大會を開催し全會員の志氣を鼓舞して非常時氣分の再認識を促かすことゝした

教育勅語御下賜記念日に於る新京の催　上は新京高女における校長の訓示　下は八島小學校における母の會

家庭

冬…御婦人の外出に「極」く簡單な防寒具

名だたる滿洲の冬が近づいて參りました、室內にいらつしやる時は煖房がゆきわたつて、初冬よりも却つてあたゝかう御座いますが、御外出の際は御冷込みにならない樣御注意が大切です。【赤塚久子・記】

防寒の心得

先づ何よりも下着を充分になさいます事。

近く肌あたゝかいものをキチッとまとひますと外側にはさう大して大袈裟な防寒毛皮などは必要ない樣で御座います。日本婦人の和服は一體にゆつたりとすきま多く作つてありますから、滿洲の冬には誠に不適當と存じますが、然し全部滿洲服や洋服に改良してしまふといふわけにも參りませんから、和服に適當した防寒の方法を考へなければならないと存じます。下着を充分にいたしますのには

一、股引樣の下穿をつける必要が御座いましよう、冬はどうしても膝が冷えまして御膝のさむい爲に風邪をひく場合が多う御座います、內地ならストッキングに足袋で充分で御座いますが、こちらはメリヤスか毛の股引かパッチの樣なものゝ方が保溫によろしいと存じます。

二、次には綿入れのお裾よけですが、胸から足の までのたつぷり丈のある御裾よけで表はメリンスでも、ネル等で御作りになり中に二絹でも御好きのもの裏は眞綿を入れます。これは非常にあたゝかいもので御座いますから御試になる事を御すゝめいたします寒い風にあたつて一番冷たいのは耳と鼻のさき、足の爪先き等で御座います

その他の注意

一、冬はなる丈耳かくしに御結びになりますと自然の防寒になりましよう

二、襟卷きはたひらなショールよりも、フカッとした狐の襟卷等の方が耳から襟をスッポリ蔽つて實用的と存じます

三、履物は防寒草履が出來ております。足袋にあの毛のついた草履をはいて猶足のお冷へになる方は外出の時もカバーを御つけになるとよろしゆう御座います。訪問などなさる時は玄關で御とりになれば好いわけで御座います。

特に和服に對する心得

スポーツは體育に非ず(5)

大滿洲帝國陸上競技協會技術委員 奥 勝久

スポーツはスポーツとして嚴然と存在して居り、同樣體育も亦體育として嚴然と存在してゐるのである、此れを哲學的な理論より說明すれば兩者の區別が明確になるが、餘り專門的になるので此處では省略する、最後にスポーツが體育に非ざる具體的な最も明瞭な一例をとれば、陸上競技或は拳鬪等で競技中、負傷する事がある、然し競技者は、我を忘れて齒を喰ひしばり乍ら

最後迄

奮戰する勇壯な場面を諸君は見た事が有ると思ふ、又嘗て極東オリムピックがマニラで開催された際日本軍の故國を出發する前に織田幹雄選手はアキレス を傷け出場不能に迄なつていながら苦痛を忍び自己を犧牲にし、大會へ出場した一事は一體何を物語るものか、スポーツが體育であれば競技中でも直ちに中止すればよい、何も苦痛を忍んで出場しなくてもよい即ち體育の目的に反して迄競技する必要が一體何處にあるか、體育に於ては勝敗そのものに就ては主要問題ではないのであるが、スポーツに勝つと云ふ事が必ず

目的に

なければならぬスポーツの成立には必ず結果に於て勝敗を豫想す勝敗の豫想を外にしてスポーツは成立し得るものではない、よく競技に臨んで勝敗を眼中に置かないと云ふことを聞くが、それは勝敗の觀念に支配されぬと云ふ意味であつて、勝敗ないと云ふ意味ではない。勝敗を無視して競技をすると云ふことは、それ自體無意味である、此處ではつきりと體育とスポーツの相違が諸君に了解される事と思ふ、重ねて言へば體育は身體と精神兩者が相即不離、一心一體の姿に於て健全なる

人物を

形造るのに反しスポーツはスポート、即ち興味の滿足より發展し、現在では剛毅、果斷、忍耐、犧牲、節制、機敏と云ふやうな精神的鍛練がスポーツの目的となつてゐる故に、體育が目的とする健康と云ふ肉體的な考慮は全々考へて居ないのである故に鍛練の過程に於ては過勞と云ふ事も忍ばねばならないと云ふ事は、スポーツの長所であると同時に短所であつてその運用を誤るから心身を害することになるので、この運用を誤ると云ふ事は、結局スポーツを體育と考へてゐる點より起因するものではないかと思ふ。

明治節に開かれる刀劍展に就て(上)

幹事 濱田豐樹
同 小澤禎古郎

新京教化聯盟主催、日本刀劍武具展覽會は十一月三日午前十時から午後四時まで中央ホテルで開催される

一、出品受付は同日午前九時まで
二、出品は各自又は代理人により御持參または御持歸りのこと
三、展覽品に對しては御希望なき限り決して批判はしません
四、取扱は熟練せる係員これに當り閉會後は手入をしてお渡しします

以上の通りで會期中は責任を以て保管すること勿論である

日本刀はわが大和民族の精華であつて三種神寶中にも天の叢雲の寶劍がある、八咫の鏡は智を現はし、八阪瓊曲玉は仁を示し、天叢劍は勇を現表したものである、この三德を以てわが祖先は大八州の平定經綸をなし給ふたのである されば神代の幽遠の古より劍の威德を稱へ、劍を尊んだ氣風はやがて大和魂を涵養したのである、三種の

神寶

と共に祖先崇拜忠君愛國の礎となつたのである。

日本刀は實に建國の精神および國民性に深き關係を有しわが邦においては獨得の發達をなし、威容を呈するに至つたのはこれ大和民族の精神の表徵にある、武士は刀劍を以て自己の魂とし、その心を研き自重心公德心を發達せしめた、日本の武士道はこの刀劍を中心として成立したのである、「武士の魂、刀の手前」等は如何に武士道を砥礪せしめたかは思ひ半ばに過ぐ、昔鎌倉將軍惟康親王、一文字助眞を召して

刀を

鍛ふるの技を問はれた、助眞は答へて曰ふ「百錬の功は精神玆に鐘まる、故にその器靈異にして能く神明を動かす、これを佩びて海に泛べば鯨も伏し、これを帶びて夜行けば魅も逃る、苟も倉卒に鍛冶せば、磁器に異ならず何を以て靈あらん」と、鍛錬そのものが如何に精神を籠めたかは窺ひ知ることが出來るとゝもに、これを佩びた人に、またこれを愛する人に精神的感化を與へしは

偶然

でないことが察せられる。

日本刀は神祕的傳說歷史的背景を有し、數十年間の發達を遂げ上は朝廷より下は武門武士の魂とまで尊敬された寶器であり、またこれが附屬品たる小道具も實用とし、裝飾として時代の特色を發揮して名工が心力をこゝに集中し、その他の武具と相俟つて日本固有の眞價を現はしたのである。

刀劍の話

—本日休載—

演藝放送新人募集

惠まれない、出づべくして出なかつた伎藝者と隱れたる市民藝術家を世に送り新京演藝界の發達に貢献するため本社は左記により演藝放送の新人を募集することゝなりました。職業人、非職業人たることを問はず振つて御申込み下さい

第一回募集規程

一、申込希望者は職業人、非職業人を問はず年齡十六才以上の男女であること
一、希望者は希望種目を明細に記し出演希望書に履歷書(演藝に—する)を添へ「新京永觸町新京日日新聞社」宛御提出下さい
一、詮衡の日時場所は追つて本紙上に發表します
一、出演申込は必ず希望者自身に限ります、伴奏は希望者において取り決めること
一、合格者は新京放送局から放送を御依賴します
一、申込者氏名は發表せず、合格者氏名だけ發表します
一、詮衡委員氏名は詮衡當日發表します
一、募集種目は長唄、義太夫、小唄、浪花節、琵琶、漫談漫才、聲色の七種でその他のものは第二回(來る十二月の豫定)に讓ります
一、第一回募集締切りは十一月三日です

主催 新京日日新聞社

北滿第一線慰問袋寄贈者氏名(三)

一〇谷正之、五慶田、一吉村妙子、五鐵林、一吉村富美、一壽田辰子、一河田ヨシ子、三清水豐治、一金田三千枝、一古賀信乃、一高木文子、一坂口久子、一江口春枝、一齋藤チク子、五森、二武波よし子、一長谷川長治、一田中穰、一長谷川愛子、一田中知惠子、一長谷川タイ、一吉井福野、一中川清子、一吉井サカエ、一松尾かず子、四稻川キク、一松尾きの、一大葉政子、三塚本靜子、一大葉清子、二武田胤雄、一大葉智子、二武田その枝、一大葉直太郎、一古川繁子、一小寺容子、一吉川鴻子、二松葉みち子、一古川二三子、一栗原素子、一古川錦子、二沼田商會、三上原はる、二福田松代、二御厨シチ

吉川組支店、二松田チカ、一藤房子、二深澤なほ、二宮木靜子、一吉牟田カツ、二村田靜子、一村上ユナシ、一滿日新京支社、二松浦富士子、二鹽塚商店、一酒木米子、三朝來、一藤ユキ方、一岡本榮、一大橋ヨシエ、一梅澤八重子

ヨ、二吉田光、二森下トク、一森田久子、一横山サク、一齋藤木滿、二明石キヨ子、一永野チヨノ、一明石セツ子、一武居みさお、一明石愛子、一松尾きくゑ、一山口稻、一矢澤ぜん、一內藤美、一高橋積代、一結家マスヨ、一大江一長枝きよ、二木田商會、新京支店、一結城つる子、二井原新京支店、一上野靜江、二

お料理獻立

山味飯

これは朝鮮風の茸と栗の御飯でございます。朝鮮ではこの御飯に昔がたりが傳はつてゐると聞きます程秋の山の味豐かなものでございます。

【材料】(五人前)栗五合、しめじ茸五十匁、白米七合、酒五勺、砂糖大匙一杯、醤油五勺

洗つたお米に澁皮を剝いだ二つ割の栗をまぜて炊きかけ、しめじを酒、砂糖、醤油で煮て前の御飯にまぜて炊きます

けふの番組

(M・T・O・Y 新京放送局) 二十一日(木曜)

(朝)

六・〇〇 建國體操(滿語)
六・一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ(大連)
六・三〇「滿語講座」臨時休講
七・〇〇 中等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七・二〇 天氣豫報(大連)
引續き 朝の音樂(大連)
八・三〇 經濟市況(東京)
九・〇〇 音樂(レコード)
九・二〇 料理獻立
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 婦人家庭講座 育兒の知識(一) 醫學博士 鈴木病院々長 鈴木紀
一〇・二〇 經濟市況(大連)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
一一・〇一 經濟市況(東京・及大連)

(晝)

一一・四〇 ニュース(東京・引續き新京)
〇・〇一 經濟市況(大連・引續き新京)
〇・〇四〇 建國體操(滿語)
〇・二〇 晝の演藝(滿語)
一、清唱 馬殿(二 慢板) 二、捉放(西皮慢板) 老生 美 鈴 胡琴 王 慧 敏
一・二〇 ニュース(滿語)
二・〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品値段(滿語)
二・二〇 成人講座(滿語) 最近五年內王道必昌之憶測(奉天) 奉天省立奉天第一工科高級中學校 張敬修
二・四〇 演藝(レコード)(滿語)
二・五〇 經濟市況(東京)
三・〇〇 ニュース(東京)
三・三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
三・五〇 ニュース(鮮語)
四・三〇 ニュース(鮮語)
四・四〇 演藝(鮮語)
四・五〇 ニュース(英語)
五・〇〇 子供の時間 お琴と童謠 童謠 貞永順子 お琴 柴谷久子
五・二五 今晩の番組(日滿語)

(夜)

六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 氣象通報 番組豫告
六・二五 政府公報(滿語)
六・三〇 講演(東京) 工學會の展望 工學博士 眞島正市

青年和樂の夕

七・〇〇 謠曲(東京) 山姥 シテ 梅若武久 ツレ 井上基太郎 外七名
七・二〇 常磐津(東京) 後の月酒宴島臺(角兵衛) 浄瑠璃 常磐津千東勢太夫 浄瑠璃 常磐津照□太夫 三味線 常磐津三之助 上調子
七・四〇 長唄(東京) 石橋 唄 吉住小太郎 唄 吉住小六郎 唄 吉住小三八 三味線 稀音家和三郎 三味線 稀音家三郎助 上調子 稀音家四郎吉
八・〇〇 義太夫(大阪) 一の谷嫩軍記(組打の段) =文樂座= 浄瑠璃 豐竹呂太夫 三味線 鶴澤叶
八・三〇 時報・ニュース(東京)
八・四五 ニュース 引續き ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
九・〇〇 舊劇 探陰山 汾河灣 公餘俱樂部票友
一〇・〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱) 一、講演 精神の勝利 ドブローピン 二、レコード 三、ニュース

育兒の知識に就て

前十時よりの家庭講座 鈴木紀

母親のちよつとした不注意から起る乳兒の壓殺について、赤ん坊添寢と抱き方の注意、赤ん坊の體を强壯にするための入浴上の注意、赤ん坊の眠らせ方の注意等についてのお話してみたいと思ひます。(寫眞は鈴木紀氏)

東西若手連による「青年和樂の夕」

【後七・〇〇】B・Kからは文樂座が參加

常磐津

後の月酒宴の島臺(角兵衛) =東京=

「神樂はやして町々めぐる同じ世渡り梅咲や「笠の內さへのぞかれて人も見おくる愛嬌はてんとおてんと天から落ちた天人が「廻つちやいややの何ばからしい、とても色にはこんな身で成駒屋なら夫こそはこつちも首たけ濱むら屋なぶらしやんすな世はなさけ旅ぢやなけれど道づれになるとはなしの後や先、これではちつとも氣がねなし キキドコロ「きがねなしなら角田衛さん「こんなぶざまも眞實はお前のお氣に入りたさの蟻の思ひも天とやらどうで女房にやなられぬけれど、せめてやさしいお詞にあまへた女ぢやないかいないふてもおくれな月がたの田舍者ぢやとおなぶりか思ひくらべをせうならば淺間の烟りと烟草の烟り、やにはにほれた正直男又うそらしい眞顏で人をたまさかも、ほんにちやかしたしゝまひさんわつ ちもそん ならひ やかしの…

長唄

石橋(東京)

謠ヒガカリ詞「是は大江の定基出家し寂照法師にて候我入唐渡天の望候うて波濤を越え是は早石橋にて候向ひは文珠の淨土淸涼山にて候程に此あたりに休らひ橋を渡らばやと思ひ候本調子「松風の花を霰に吹き添へて雪をも運ぶ山路かな合方「樵歌牧笛の聲人間萬事樣々に世を渡り行く業なから餘りに山を遠く來て雲又跡を立ち隔て入りつる方も白浪の谷の川音雨とのみ聞えて松の風もなし實に過つて半日の客たりしも今身の上に知られつゝ妻木脊負うて斧かたげて歩み來るワキ「如何に其れなる山人是は石橋にて候かシテ「さん候是は石橋にて候よ向ひは文珠の淨土にて淸涼山とぞ申すなりよく〱御拜み候へワキ「我身の上を佛慮に任せ橋を渡らばやと思ひ候シテ「暫く候そのかみなり名を得給ひし高僧貴僧と聞えし人も此處にて月日を送り給ひ難行苦行捨身の行にてこそ橋をも渡り給ひしが獅子は小蟲を食まんとても先づ勢ひをなすとこそ聞け我が法力のあればとて容易く思ひ渡らん事あら危ふしの御事やワキ「謂れを聞けば有難やなほ〱此橋の謂れ詳しく御物語り候やシテ「語つて聞かせ申すべし大薩摩へ夫れ、合、天地開闢のこのかた「雨露を降して國土を渡る是れ即ち天の浮橋とも云へり合、其外國土世界に於いて橋の名所樣々にして水波の難を遁れては萬民富めり世を渡るも則ち橋の德とかや然るに此石橋は嚴峨々たる岩石に己れと架かる橋なれば石橋とこそ名付けたれ實に此橋の有樣は其面僅に尺より狹う渡せる長さ三丈餘り苔は滑て足もたまらず(合)谷のそくばく深きこと數千丈とも覺えたり

義太夫

一の谷嫩軍記(組討の段) —文樂座—

「去程に御船を始て一門皆々船に浮めば乘をくれじと汀に打寄れば御座船も兵船も遥に延賜ふ無官の太夫敦盛は道にて敵を見失ひ御座船に馳付いて父經盛に身の上を告知らす事有と須磨の磯邊へ出られし船が一艘も有ざれば詮方波に駒を乘入れ沖の方へぞ打せ賜ふかゝりける所に後より熊谷次郎直實オイ〱と聲をかけ駒を早めて追かけ來りヤアそれへ打せ賜ふは平家の大將軍と見奉るまさなふも敵に後を見せ賜ふか引返して勝負あれ斯申す某は武藏の國の住人熊谷次郎直實見參せんかへさせ賜へと扇を上てさし招き暫し〱と呼ばつたり敵に聲をかけられて何か猶豫の有べきぞ敦盛駒を引返せば熊谷も進み寄り互に打物ぬきかざし朝日に輝く劍の稻妻かけよせ〱てうてう〱蝶の羽がへし諸鐙駒の足並かつしかつしかしこは須磨の浦風に鐙の袖はひらひらむれ居る千鳥むら千鳥むら〱ぱつと引汐に寄ては かへり返りては又打かゝる虛々實々勝負も果し有ざればいざふれ組まんと敦盛は打物からりとなげ賜へばコレしほらしと熊谷も太刀投捨て駒を寄馬上ながらむづと組えひえひ〱の聲の中互に鐙を踏はづし兩馬が間にどうと落すはやと見る間に熊谷は敦盛を取て押へ斯く御運の極まる上は御名を名乘直實が高名譽れを現はし賜へ又今生に何事にても思ひ殘す御事あらば必ず達し參らせん仰置れへ候と懇に申すにぞ敦盛御聲さやかにヲ、やさしき志敵ながら天晴れ勇士斯情有る武士の手にかゝり死せん事生前の面目戰場に赴くより家を忘れ身を忘れ兼てなき身としる故に思ひ置事更になし去りながら忘れがたきは父母御恩我討れしと聞賜はゞ嘸御歎きに思ひやるせめて心を慰爲討れし後にて我死骸必父へ送り賜はれかし我こそ參議經盛の末子無官の太夫敦盛と名乘賜ひしいたはしさ…

文藝

中篇小說 生活の花 9

川内堯　カット 池邊靑李

田中春夫が留置場で結んだ夢のなかに最近の體驗であるところの滿子との交渉の場面はあまり現はれず、かへつて商賣的往來のそれであつたところの、逢坂町の宮子とのエロティックな情景等がきれぎれに浮んで來たのには、春夫は眼覺めて顔赧らむ思ひしたは不思議なことであつた。春夫はむろん宮子を好いてはゐたが、それはあくまでも彼女らの置かれてゐる社會的環境を舞台としての接觸であり情愛であつた。それならば滿子とのそれは何であつたか？、彼は昂然と、それを取調べの警部補に訊かれて答へたのであつた。

「あの女とは友人關係なのです。……」

「池谷滿子は君の家に屢々泊つたことがあるな。それに池谷滿子が書いてゐる手紙などを讀むと、君はそんなただの友人關係と言ひきれるやうな關係ぢやなかつた筈で！」「あの、フランスでアミつてのがあるんですがね…」

春夫はさう說き出したのであつた。尤もそのときにはもうその警部補氏と相當仲好しになつてゐて、冗談なども言へたのであつた。晩い秋の薄いくせに妙に色の紅い夕方の陽光が、そこいらに積み重ねてある埃のたまつた書類の上に流れて來るのを見わたしながらそんな會話をするのはその時の春夫にとつては考へて見ると「こいつ時間の浪費ぢやないか、もつと自惚れて言へば社會的浪費損失ぢやないか」と、自分を反省しながらも、外へ、狹い環境へ反撥する氣持も起つて來るのだつた。

「アミといふものは、將來の結婚とかいふことを何れとも約束することなく、男と女とが自由に取り結ぶところの、友愛關係、性的生活であるのです」

恐らく、警部補氏のノートには、そのやうな文句が田中春夫の陳述として書き殘されたことであつたらう。

狹い四疊半敷くらゐの大きさの留置場に歸つて來ると、そこには二人の日本人、三人の滿人がうづくまつてゐた。日本人の一人は十八くらゐの若い男で、何とかいふ內地から來た書家と一緒に大連に來て暮してゐるうち、その主人の持ち物か賣り物かである硯石を賣つてその金を自分で費消してしまつた、それを主人が自分を誤解し警察に訴へたのでひつぱられたのだと自分では言つてゐた。本當にさうであつたかも知れない。或ひは單にそれ丈の事情ではなくもつと何か惡ずれしたことをやつてゐたのかも知れない。そんな「犯罪嫌疑」の事件に興味を持ちはしなかつた。ただその男が十八といふ若さであるのに、流行歌がうまく、話術がうまく、そして蓄音器で勉强したのであらうが浪花節が大へんうまいのにおどろき且つ感心したのであつた。もう一人の男は年齢は二十三四だつたが、ルンペンであつた。彼は恐喝でやられたものらしかつた。この男は毎日だまりこんでゐた。むしろこの男の方が、本質的に田中春夫よりは本物の「右翼」であつたかも知れない。春夫の留置場生活はもうこゝいらで切り上げやう。物語はもつと進行せられねばならない。

葬送曲

桃北好澄

秋の日に白き花鳥圖
余りなこの閑けさ、親しさ
無爲にゐて思はざれば——
老莊の懈怠に泪たれつつ
秋、まひる
風塵に響く葬送曲に
しらじらと耳を傾けてゐた
×
雁來紅に白の光
それ故に只なにごともなし

放念

水壺の青い肌に　さびさび
と照りかげる光
日時計は濡れてほろほろと
刻を指すとき　櫻の初毛は
雪のやうに皓く　丹頂の鶴
は三度目の夢を見た
忘却の廢址に鶴の卵の赤さ
みにくい慾念を洗ひ去り
洗ひ去り　少女は日昏れの
果物を無暗にほしがる

雜詠

室戸志摩樹

村境に友どち來つゝ盜む如曇珠沙華の花摘し夕暮
×
一處ほのか香ずる挾竹の明りをかぎつ歩く庭園
×
疲れては小春の光足に踏んで枯草の丘に上る嬉しさ
×
哀しくも艶なる頬よ君に似て〻にそよぐコスモスの花
×
つゝましく君と二人の灯して合歡の花植う時待つべかり
×
薄づける椽の淺日に足先きの冷を覺えて朝風のある
×
泣けど泣けど想は同じ連雲のはてにも似たる人を戀ふかな
×
遠に戀ふ黒髪の娘の執着やまばろし白き春の夜明り

或る人生

西城一男

サタンの射れる金の矢が絃を離れた
彼は七色に光り輝く矢にウットリと見とれてゐる
警鐘が鳴る……
彼はサタンの射つた金の矢に瞳をうばはれサタンの奏でる琴の甘いセンリツに耳をうばはる
警鐘が鳴る……
サタンが彼の耳もとで囁いた
「青春を享樂せよ、我等の同志、汝の來たるを待つ、我が後へ續け來たれ—」
警鐘が鳴る
一段と高く——
彼は今寢る所も無く野良犬の樣な生活をして居る。
霧の中にぼやけた街燈—
固い冷たい公園のベンチに
彼はぼやけた頭をかゝへて震へてゐる
總ては過ぎた
木の葉が音も無く水面に身を投げた
警鐘は鳴りをしずめ
葬鐘は高らかに鳴る

或る晩

坂本水馬

潮の中の藻草の樣な秋の心は
今日も亦流されて
女達の疲れた瞳と媚に濡れ乍ら
卑猥な言葉や動作の中に坐つてゐた
左程の悲しみもなく喜びもなく
流されて行つたこの心の弱さ
囓まれる樣な悔恨に
足許はフラッキ
頭は疲れて
ジンジンと心が疼いた。
苦力の鞭の音と車の騷音に
耳傾け乍ら
自分は明日の虹を描き
明後日の日めくりの數字を
考へ込んでゐた
ケチ臭いこの根性を
未だ肌寒い三月下旬の夜風が
笑つて流れ去つた。
（康德二年四月）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲婦人公論（十一月號）今月は創刊廿周年記念號。幾多の婦人雜誌の中で、常に獨自の立場を保ち、女性の正しい向上のために力を盡して來たその廿年の功績に對して、こゝに改めて敬意を表したいと思ふ。

▽表紙はいつもの山川秀峰氏であるが、從來の女の顔の代りに今月號では女の全身が描かれてある。金粉を使つた豪華さと相待つて非常に異な美しさを見せてゐるのも記念號らしい力を感じさせる。

▽第一特輯の『思ひ出の廿年』第二特輯『伸びよ女性』第三特輯『よりよき結婚のために』第四特輯『映畵女優出世作物語』第五特輯『趣味の手藝二十三撰』はいつも乍らこの雜誌らしい洗練されたよき趣味が好もしい。

▽第一の別册附錄として『新女性手帖』がつけられてゐるが、眞赤なこの小さい手帖は見ただけで女性の氣持にぴつたりした可愛いもの。「ハンドバッグへ入れてお持ち下さい」といふだけに、これはまた文藝から服裝、料理に至る凡ゆる知識のエッセンスとして何處を開いても面白いしインテリ婦人に喜ばれること受合ひ。

▽第二別册『花占ひ双六』は綺麗な四色版で、運命や戀の占ひが出來、おまけに一家揃つて双六式な花摘み競爭が出來るといふもの。花の種類八十五種が、知らない間に覺へられるといふ點でも小さい子供達の情操教育にも役立つゝ試みだと云へる。

▽全體を通じて廿周年記念號らしい美しさと力が感じられる。

滿洲と日本との歴史的關係（二）

岩間德也

然るに其の內新附軍と稱する者は支那人や朝鮮人であるからと云ふので之は殺戮を免かれましたが、其の內に右の千と云ふ人の他莫靑、吳萬五此の兩人も共に本國に逃げて歸つたのでございます。十萬の衆生還し得た者は僅かに三人と云ふことでございますが其の實は倘澤山の

生還者

があつたのでございます、ところが此處に云ふところの張百戸と呼び殘軍の主師に擬せられた人のことは元史にも其の他の文獻にも別に詳しく書き傳へられて居らないのであります。從來右の日本傳の記述以外には此の人に關することは何事も判つて居なかつたのでありますが、偶々大正十四年五月二十一日私が金州城北門外の天齊廟と云ふ寺の境內で元の敦武校尉管軍上百戸張成と云ふ人の墓碑を發掘したのでございます。此の人は只今申上げました弘安四年の元冠從軍致しまして東路軍に從つて出陣し屢々拔軍の戰功を建てゝ戰中に於ても度々恩賞を受け戰後に於きまして肩書の官位を授けられ、且銀五十兩、鈔二千五百紙幣帛二と云ふ重い賞與を賜つた人で、年輩も從軍の當時は既に五十七歳の年長者でもございましたから、明史日本傳の

張百戸

は或は此の人であるかも知れないのであります兎に角此の人は元冠の役の後元に歸りまして後には今の關東州貔子窩管內双山屯と云ふ所に屯田致しまして、其の附近の地に永住し六十九才にして亡くなつた人でございます之は其の頃元は今の關東州の南關嶺、金州、普蘭店、貔子窩等の地方に多くの屯田兵を派遣致しましたのでありますから、張百戸も其の一分隊として同所に駐在して其儘子孫が明朝頃迄其の他方に住居し後金州に移住したものと思はれます。其の死後五十四年其の墳墓には記功の碑が建てられました。此の碑の建立は日本では丁度楠木正行の戰死した年の二ヶ月後に當るのでありますが、此の碑は表面と背面に詳しく元冠從軍の史蹟が記されてありますので、元冠史研究の

新史料

と致しまして專門學者間には珍重せられて居り日本、支那並に朝鮮の史籍に洩れましたるところの新たなる史料を提供して居るのも少なくないのでございます。次に元が亡びまして後明となり、此の地方と日本との關係上最も重要なる事件に倭冠でございます、此の倭冠と云ふ言葉は日本人自ら云ふべき言葉でなく、支那人から云ふべき言葉でございますが、便宜上此の名稱で假にお話を致します。偖此の所謂倭冠が遼東に關係を持つたのは何時頃かと申しますに、夫れは少なくとも明の始め頃からで、只今より五百六十餘年前のことでございます。洪武二十七年には倭寇は此處金州の地方を襲撃して屯糧を燒き兵士を殺しましたが、夫れから二十五年後になりまして今の關東州金福鐵道亮甲店驛附近にあります望海堝城に於きまして倭寇史上に特筆大書さるべき

大激戰

が起されました此處は金州から東北日本里の七里餘の所でありまして、時は永樂十七年の六月、之は五月と云ふ說もありますが、十五日であります、之より先永樂九年三月にも倭寇の襲來を受けまして多數の兵士が殺されましたので、當時の警備の責任者であるところの中軍都督劉江が之が爲に明の皇帝の逆鱗に觸れまして斬首せられる筈のところが、後日の功績に依つて贖罪せしめられることになり丁度今日で云ふところの執行猶豫と云ふ樣な形になつて居つたのであります。劉江は其の後倭冠が來襲致しましたならば其の時こそ眼に物見せて前過を償なはんと力味返つて機會の到來を待つて居つたのであります。

化學的設備を完成したる
製菓工場の一部

△和菓子は東京一流の職人
△洋菓子はポーランド一流技師
△獨特のパンは大阪一流の職人

日本職人二十余名が風味第一衛生本意に御用命に應じて居ります

慶事用、佛事用、御引菓子、餅、赤飯其他如何程にても御用命に應じます

顧客本意、配達迅速

和洋菓子
高級果物
喫茶食事

大阪屋

新京興安大路

十一月三日ヨリ通話　電話　二一七九二番　二一二七五七番

家具と室內裝飾の御用命は

横山洋行

支店　新京日本橋通四十六　電話三八三一番
本店　奉天浪速通二十七　電話二三九〇番
支店　ハルビン埠頭區斜紋三道街一〇　電話五五〇四番

ロールブラッグ　滿洲一手販賣
桐簞笥・和洋家具・窓掛・絨緞
ブラインド・リノリユウム・織物敷物

指掌
整體術
血液循環療法の
三井田療術所は
新京三笠町三丁目東二條通
新館方　電三九三一番

●外來取扱午前七時より午後八時まで
●市內往施術午後三時より
●光明思想普及會出版の小本無代進呈

硝子　鐵材　塗料

其他土木建築諸材料商

天野商店

新京ダイヤ街老松町
代表電話（長）六二一一番
倉庫專用六二六八番（新京倉庫內）

新京日本橋通新京百貨店前
大連大塚製靴鞄店支店
電話二四六九番

秋の吉日

秋深し……の砌り皆様の御健鬪の程を祈ります

弊店も日頃皆々様の御愛顧を蒙りおぼつかながら營業を續けて居ります此度周圍のお薦めに依りすきやき鍋物一式にて輕便簡食を本意とする支店みかどを開店致しました御期待に添ふ樣な接待と調理とを整えて御參駕の程をお待ちして居ります

本店江戶家同樣にいつまでも／＼御ひいきの程を……願ひ上ます

旦那さんダヨ
奥さんどちらへ行く
すきやき喰に
サテモ美味いので
みかどまで
其れなら私もお供する

みかど

三笠町三丁目
電話　六九三一番　三一三五四〇番

萬　辰

マルマン　キツコーター

特等醬油
九升樽詰　壹樽毎ニ
入リツトル（罐入リ）貳缶毎ニ
抽籤券進呈

全滿各地ニ販賣ス
乞御用命を

秋季景品付賣出し

景品種目
一等銘紗　一反宛　十本
二等帶地　一本宛　三十本
三等モスリン　一反宛　七十本
四等醬油用片口　一個宛　千二百本
五等小皿五枚又は湯呑二個入一組宛　六千六百九十本

釀造元
大連丸辰醬油會社

新發賣

ぢ疾內服藥　アーナス

本劑ハ最近發見セラレタル最モ卓越セル內服藥ニシテ巷間販賣セラルル局部用藥ノ如キ一時的緩和劑ニアラズ既ニ多數患者ニ就キ實驗ノ結果短時日ノ服用ニ依リ其藥効極メテ顯著ナリ

「由來ぢ疾治療方法ハ種々アレドモ遂ニハ專門醫ニ依ラサレバ目的ヲ遂スルヲ得ザルガ其治療タルヤ主トシテ外科的ニシテ局部ノ痛苦ハ云フニ不及日ノ空費物質上ノ損害多大ナルハ既ニ知悉セラルル處ニシテ玆ニ本劑ノ如ク內服藥ニシテ何等ノ疼痛ヲ感セズシテ患部治癒適確ナル本劑ノ出現ハぢ疾患者天來ノ福音ナリト信ズ」

各地有名藥局藥店ニアリ

適應證　脫肛・痔痒・核痔・內外痔・痔瘻
一切疾痔・出血痔

藥價
八日分試用金一圓五十錢
十六日分輕症用金三圓
一ケ月分重症用金五圓
二ケ月分重症用金十圓

大連市乃木町十四番地
アーナス商會
電話二一四一五二番・二…六五五六番
振替大連六五五四番

米穀　酒類　食料品　問屋

滿洲商事株式會社

新京日之出町二丁目四番地
電話六三二〇番

瓦斯のない家庭の福音

不意の來客の時………

マツチ一本て助ります

本當に便利經濟な「スネールコンロ」

發賣元　大連洋行

大連連鎖街
電話（三）二七〇一番

愈々來月三日から 新電話番號へ！
變る零番と一〇二番個所 モシ／＼に御注意

電々會社本社の新京移轉により大同廣場電話局が新設され來る十一月三日午前零時を期し從來の電話が新交換機に切替へが行はれ、同時に大同廣場電話局を新京中央電話局と稱し、又南廣場電話局を新京中央電話局大和分局と稱へることゝなつた、尙この切替へと同時に新電話番號簿の番號によつてゞなければ通話が出來なくなるつまり大同廣場の本局は從來の番號の上に二を冠せられ南廣場分局の分は三を冠して廻轉盤を廻すことを注意すべきである、尙又從來市外通話の申込みは〇番であつたが、今度は一〇〇番これは本局管內も分局管內も同樣である、又番號問合せは從來一〇二番であつたのを一一三番に變更される

いつになつたら 解消するやら 新京の入學難
第七小學校の新設取止め 中學校も增築せぬ

幾春めぐり來つても國都新京の小學校兒童收容難は緩和されず小中等學校入學生の入學難で惱まされる一方である

新京では白菊、八島兩小學校開校に引續いて第五、第六小學校も目下建築中で正月から開校の運びとなり更に第七小學校まで大同廣場東南方に設置すべく滿鐵でも計劃中であつたが奧地開發につれて滿鐵の兒童教育費その他行政費が膨脹するのみとなり、そのため第七小學校新設は見合せ、その代りに白菊、第六兩校を三十學級に增築し共に高等科も併設することに決定した模樣である、中等學校の方は第二高等女學校は豫定通り南新京驛前に新築、商業學校は現在の校舍では狹隘でとても收容出來ぬのでゴルフ場南側に新築、移轉の豫定であつたがこれまた經費の都合でとり止め本年度入學生と**同數**を入學せしめる

中學校も增築豫定であつたが是亦現狀維持に決定した、斯樣に第七小學校新築見合せ、商業學校の移轉中止、中學校の現狀維持といつた具合で年々增加の一途をたどつてゐる兒童及び中等學校入學希望者の入學難、同時に親たちの心勞はます／＼つのるばかりで何時になつたら新京の入學難が解消するものやら目鼻がつかぬ

滿人商店から 百圓

滿人間における防空の認識は日每に深められるにいたりて彼等の中にも進んで防空献金を申出でるもの度々あるが、今度東三道街榮記商會（滿人商）ではさる廿八日居留民會加藤區長を經て新京居留民會へ金百圓の防空献金を申出でた

防空献金美談

防空献金に付ては既報の通り新京居留民會に於ても過般來各區長に於て夫れ／＼募集中にて各處に於て献金美談を生んでゐるが其の一として新發屯第七區長寺田辰次郎氏よりの報告に去る二十八日正午頃同氏の許に僅少乍ら防空献金の一端にと金拾圓を氏名も告げずに置き去つた人あり同區長も其の心情にいたく感激し領收證を作成する必要上氏名を各方面に亘つて調査した處右は崇智路一〇二號渡邊淸氏と判明同氏は家計も餘り豐かならざるにも不拘防空施設の必要を痛感し今回の計畫に欣然として應じたるもので斯くの如き人あつてこそ日滿融和の實を益々擧ぐるものであると居留民會では感激し語つてゐる

情夫に入れ揚げて 同僚の品を入質
虐待されるからと留置場志願

三十日正午頃一見支人風の女が**新京署**保安主任を訪れて『虐待されて居たゝまりませんから留置場でもよいから保護して下さい』と訴へるので保安主任は『留置場でもよいとて留置場には支那人が這入つて居り南京虫や虱がゐるがそれでも我慢するか』といふと女は『南京虫に食はれてもかまいません家に歸つて虐待されるよりはましです是非とも留置場へ入れて下さい』と極力留置場入りを哀願するので取り敢へず家人を呼び出し事情を聞くと此の女は市內富士町二丁目二十八番地料理店玉家こと龍宮タキ方抱へ酌婦松子こと本籍島取縣生れ川上シズ子（二六）で松子は本年六月料亭錦から前借六百五十圓で抱へられたが性來の**多情な**女で當時前借金のうち二百五十圓を馴染男に貸し與へその男が內地へ歸國最近又も馴染男をこしらへ自己の身の廻りの品物を曲げては金を工面し男と逢瀨を樂しんでゐたがそれも束の間いつしか金に窮した揚句數日前同僚の着物を無斷で入質したことより抱主及び同僚から叱責されたので警察へ噓僞の申立てをしたこと判明懇々說諭の上家人に引渡した

熱河の風物（完）
牧童
畫と文・宮坂勝

八大喇嘛廟の內、佈達拉廟が一番大規模の寺だ。百近いかと思はれる堂塔や伽藍が立ち並んでるが、崩解が甚だしく、唯外壁丈を殘してるのはビルデイングのやうである。そして寺內を放たれた牛や豚が食をあさつてる。鞭を持つた牧童がそれを追ひ廻はして居たが次の日寫生してる私の傍に來た喇嘛僧の衣を着たお小僧は、昨日の牧童であつた。

伊通縣に匪賊 山崎部隊にも犧牲

關東局入電＝去る廿六日伊通縣公署より同縣二十家子地方に大部隊の集團匪現はれたりとの報に公主嶺駐屯の山崎部隊〇〇名は警察隊〇〇名を先導に討伐に出動、廿七日午後四時頃伊通縣靠山屯西方劉家染房附近を進軍中約三百名より成る匪團と遭遇、約二時間交戰の結果匪團に多大の損害を與へ擊退せしめたが、この戰鬪にて山崎部隊の小卷一等兵は勇敢にも敵陣に躍り込み顏面に盲貫銃創を受けて壯烈なる戰死を遂げ花澤特務曹長、高瀨一等兵、荒卷一等兵は何れも重傷を受けた

驛の移轉に伴つて 變る大連中央部
面目一新するダルニー河

大連驛移轉に伴ひ大連中央部に一大異變を現出することになつた、既に都市計畫委員會の手で立案決定を見た道路は西公園町より現市場を北へ縱貫する幅員六十米の道路を設け、榮町筋に於ける十字路より更に幅員三十三米の道路が新大連驛の東側を陸橋を以て露西亞町に結ばれる、一方現連鎖街側の道路はダルニー河を暗渠としこれを幅員三十三米として驛前に結び、橫貫する現榮町には將來電車を布設する見込である、現在の貯炭場は榮町二番地裏に移轉せしめ驛前大廣場には驛に面して大ビルデイングの建設を豫定してゐる、現卸市場は瓦斯タンク附近に移し信濃町電車通に面して三階建の綜合建築による小賣市場が建てられる筈である、斯くして二三年の後に現出する大連中樞地區は全く面目一新することになる

（寫眞中央が驛右側は露西亞町に通ずる道路、中央前面の建物は豫定されてゐる大ビルデイング、左端は連鎖街、右方の建物は豫定の小賣市場である）

憲兵練習所卒業生 裁判を見學

十一月一日南嶺憲兵練習所卒業の本年度第二回憲兵候補生八十二名は、教官高津曹長に引率され三十日午前九時新京總領事館刑務所を見學し終つて同館裁判所で開廷された業務橫領事件の被告井上幸夫（二四）にかゝる公判を傍聽しつゝいで關東軍々法會議を見學した（寫眞は裁判所における傍聽の憲兵候補生）

"自重して成行きを 靜觀ありたい"
滿洲視察感想を語る松井大將 新京鄕軍幹部と會談

松井陸軍大將は過般來北滿方面を視察し歸國の途新京に立ち寄り名古屋ホテルに投宿せるを機會に帝國在鄕軍人新京聯合分會では三十日午前九時より聯合分會長五十嵐少將第二分會長宮木嘉久二、長崎平次郎第四分會長代理藍津一二三、第一分會副長里見義造の諸氏は名古屋ホテルに松井大將を訪問し國體明徵問題其他について大將の意見を伺つたが大將は溫容慈父の如き態度で大體左の如く語つた

南北滿洲各地を親しく見て來たが日滿融和は口には唱へてゐるがちつとも實行してゐないやうだ、偉らい人には在滿邦人は滿洲人に對して優越感を棄てろといつてゐるがこれもちつとも實行出來てゐない全然駄目だ日本人が俺は日本人だといふ態度を捨てなければ日滿融和は到底望めない、日系官吏について云へば形式上の主人たる滿人とその下に居る事實上の主人たる日系官吏との仲がどうも甘くないやうだ、私は支那語がわかるので到る所で親しく滿人の本當の聲を聞くことが出來たがいづれもこぼしてゐる、縣公署に訴へても取りあげてくれぬといふことを私が行くとさながら親でも來たやうに喜んで話してくれた國體明徵問題は徹底的にやらねばならぬが政府は數回に亘つて聲明書を發表するやう今の處血みどろになつてゐる、この問題で若し內閣が瓦解するやうなことになれば金甌無缺を誇る日本は世界の笑ひものとなるがそんな事になつてもいかぬ、いざとなれば我々三百萬の國體はどんなことでも出來るのであるから今の處諸君は自重して成行きを靜觀してゐて貰ひたい

なほ大將は午後二時新京驛發のあじあで多數見送りをうけて南下した

特別市區防護團 新發屯分團結成式
來る四日忠靈塔前廣場で

新京特別市區防護團新發屯分團の結成は各關係者に於て鋭意組織編成を急ぎつゝあつたが去る廿九日午後一時より市公署會議室に幹部會議を開催重住氏を分團長に推し愈々結成するに至つた、同分團は粒選りの團員二百五十名を以て結成し將來模範分團として活躍すべく各幹部は非常な意氣込みである、結成式は來る十一月四日午後三時より忠靈塔前廣場に於て各官廳主腦者及一般有志の參列を得て左記プログラムにより盛大に擧行する筈

式次

一、團員集合、二、忠靈塔禮拜、三、閱兵、四、國歌合唱、五、團長訓辭、六、宣誓、七、警備司令官告辭、八、祝辭（聯合防護團長、居留民會長）九、分團旗授與、一〇、命令交付、一一、分團長挨拶、一二、萬歲三唱（分團長發聲）

丸仲脅迫は 奉新記者に非ず

奉天新聞記者の名儀で二十八日市內富士町六丁目九仲運送店へ脅迫狀を送つた事件につき奉天新聞新京支社小林規志郎氏は憤然として語る

我々は絕體に關知せぬ、誰か本社員の名を騙つて惡戲したものと思ふが實に迷惑千萬だ

新京棋友會 第一回將棋大會

棋客七段神田辰之助麾下の新進で滿洲に於ける驍將三段宮本金三氏は吉野町二ノ一八に將棋教授所を開設しこれが披露として新京棋友會第一回將棋大會を十一月三日正午から開會、會費二圓一等から十等までに賞品を贈呈すると、申込みは同所へ

來月から變る 郵便局窓口 取扱ひ時間

新京郵便局では來る十一月二日より爲替取扱時間を左の如く變更する

▽普通日 午前八時より午後九時まで

▽土曜日 午前八時より午後三時まで

赤池炭坑慘事の 遭難死體 續々收容

【福岡國通】福岡縣赤池炭坑瓦斯大爆發に依る遭難者死體は廿九日午後九時半までに七十七個を收容した、殘る六個の死體發見につき搜査員は涙ぐましい作業を續けて居るが坑內奧深いので空氣の流通惡く作業困難を極めてゐる、全部搬出までには尙相當手間取るものと觀られる

滿鐵消費組合 總代補缺 けふ愈よ投票

滿鐵消費組合では總代八名の補缺選擧を三十一日午前八時三十分から午後五時まで行ふが、開票は二日正午ごろの豫定である

羽栗師講演 けふ西本願寺で

祝町西本願寺佛教青年會では三十一日午後七時から目下來京中の本派本願寺信仰相談所長羽栗行道師を聘して同寺內で時事問題についての講演會並に座談會を開催一般の來聽をも歡迎する

特別市の 社會事業懇談會

三十日午後一時から新京特別市商會內で社會事業懇談會が開催され、出席百余名、長岡總務廳長の社會事業に關する講演があつたが、長岡氏は社會事業に就ての造詣深く頗る有意義な催しであつた

商店合理化委 延期さる

新京商店合理化委員會は三十日午後三時より商工會議所內に於て開かれる筈のところ都合により當分延期された

愛よ戰ひとれ

（映畫化上演）　福田正夫　泉武八畫

（六十八）

嗚咽（四）

すゝめられるまゝに、勝子も昔酒をたゝみつけると、毒を浴びたが――その間にも渡邊のすることが、勝美に危害を加へようとしてゐることを察しると、彼女はそれに苦しめられてゐた。

「どうしようか？」

彼女はつゝましく考へてゐた。が、湯から出てくると、渡邊はそれを待つて、彼女に眠るようにいひつけた。勝美はそこにゐなかつた。それは勝子に渡邊を接待する機會をあたへるためであるかも知れなかつた。

「さあ、今の内に……」

「はい！」

「早くしないと、醒つてくる！」

「は、はい」

渡邊は彼女を押し出すやうにして――やがて門口まで見送つた。そしてそこに待つてゐる自動車に彼女を乗らせてから、ゆつくりと部屋に歸ると、勝美のスーツ・ケースを、戸棚の中にかくした。

女中が、食膳をはこんで來たので、彼は酒に口をつけた。

「呼んでくれ給へ」

「は、夫人を！」

「うん！」

彼はうなづいた。

勝美はそんなに手際しよく、渡邊が取計らつたとは考へなかつたので、女中に夫人と呼ばれたのを怒りながら、ゆつくり部屋に歸つて來た。

「先にはじめたよ」

「えゝ」

彼女はたづねた。

「お醉は……どうして？」

「そこらにゐるでせう」

彼は白つぽくれた。

「それよりどうです。僕は日本酒黨ですが、ワインを取りよせさせました」

「さう、一杯ね」

彼女は辭さなかつた。

「ふゝ！」

御醉を感じてゐる渡邊は、事が半分以上なつたやうな氣がして、すぐ眼をあからめた勝美をみつめた。――艶やかな白い顔、白魚のやうなやはらかい手、彼には彼女の肌のあたゝかみまで、心の底に跳つてゐるやうな興奮があつた。

女中は二三度、膳のものをはこぶと、それつきり氣をきかして來なかつた。

「お醉は、どうしたんでせう？」

勝美は不安になつた。

「見てくるわ」

「いゝんですよ」

彼は、少しづゝ牙を現はして來た。

「どうして？」

「氣をきかしてるんでせう。……それとも恥かしくなつたか？」

「お醉が、なんか言つて？」

「えゝ！」

渡邊はうなづいた。

「可憐なものですな」

彼は、はぐらかしたのである。

「あゝいふ性格は、一寸見られませんよ。おとなしくて、忠實で……が、情味が欠けてゐる」

「情味が……？」

「えゝ、生き生きしたところがないんですからね」

「そんなことはないでしよ」

「ふゝ！」

淫らな彼の目が彼女に向けられた。